SONY

3-242-073-**02** (2)

SONY

オーディオライブラリーシステム

オーディオライブラリーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MEX-1HD

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

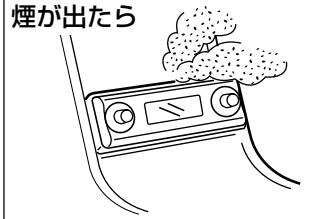
- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 安全な場所に車を止める

❷ 電源を切る

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

目次

CD/HDD/ “MGメモリースティック”

ラジオ

HDDを編集する

次のページへつづく

“MGメモリースティック”

ネットワークウォークマンを使う

サウンドの設定

その他の操作

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

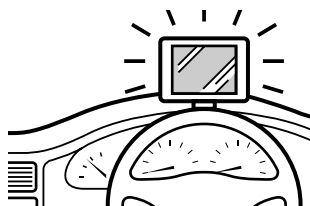
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

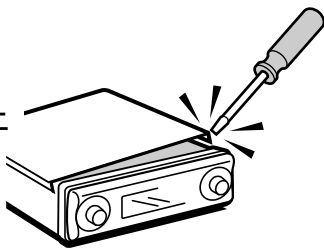
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

規定容量のヒューズを使う

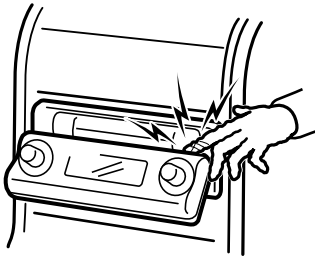
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車**に**損害**を与えたりすることがあります。

ACCポジションのないお車のときは

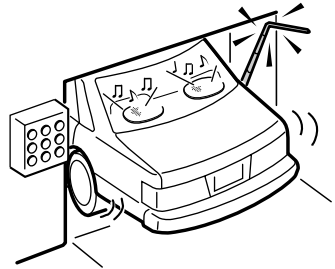
OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

フロントパネルとディスクトレイの開閉中は、手を近づけない

指をはさまれ、けがの原因となることがあります。また、ディスクトレイが出てくるときに手などにぶつかり、けがをすることがあります。

走行中はCDを入れ換えない

運転から注意がそれ、事故の原因となることがあります。

アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。

こんなことができます

- 内蔵HDD（ハードディスクドライブ）と先端の圧縮技術ATRAC3により約2000曲を保存*1。
- 最大8倍の高速録音。
- Gracenote CDDB®（CDデータベース）*2を内蔵し、自動タイトル入力。
- 録音した曲をよく聞く順に並び替えたり、アルファベット順に並び替えた曲の検索。
- 録音した曲をアルバムやフォルダーで管理。
- 好きな曲だけ集めたフォルダー（Play List）の作成。
- "MGメモリースティック"やネットワークウォークマンへのデータ転送。
- CD-R/RW、"メモリースティック"に保存されたMP3形式*3のデータ再生。
- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドイコライザー（EQ7）機能搭載。
- 音飛びガード（Car G-PROTECTION）機能搭載。
- 運転感覚で操作できるワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）に対応。

*1 AM/FM放送およびAUX端子から入力されたアナログ信号は録音できません。

*2 Gracenote Music recognition technology and related data are provided by Gracenote and the Gracenote CDDB® Music Recognition Service SM. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.

*3 MPEG 1 Audio Layer3でサンプリング周波数が44.1kHzのMP3ファイルのみ。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのワイヤレスロータリーコマンダーの操作方法についても説明しています。

Car G-PROTECTION

G-PROTECTIONはウォークマン用に開発された音飛びガード機能で、揺れや振動に対し優れた効果を発揮しています。Car G-PROTECTIONはG-PROTECTIONの技術をベースに、カーオーディオ用にチューニングされたものです。Car G-PROTECTIONは優れた音飛び防止による快適な音楽再生を作り出すと同時に、G-PROTECTIONのコンセプトと価値をウォークマンからカーオーディオへ展開させました。

Car G-PROTECTIONの特長

(a) データが読めなかった場合は0.5秒以内に再読込みする。
(b) データを2倍以上の高速で読み込む。

ただし、Car G-PROTECTIONは優れた音飛び防止を実現しますが、音飛びゼロを保証するものではありません。連続した振動や本機の取り付け状況により音が飛ぶ場合があります。

次のページへつづく

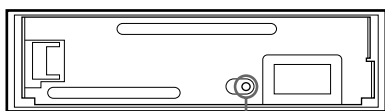
こんなことができます（つづき）

- OpenMGおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”「マジックゲート メモリースティック」および MG は、ソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”「メモリースティック」および は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”「マジックゲート」および MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標です。
- WALKMANおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- Car G-PROTECTIONおよび G-PROTECTION SKIP FREE はソニー株式会社の商標です。
- 本機は恵梨沙フォントプロジェクト所有の文字フォントを使用しています。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- “POBox”および POBox はソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE, Co., Ltd. 1999–2001 All Rights Reserved
- CDDB is a registered trademark of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo and logotype, and the “Powered by Gracenote CDDB” logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.

まず、本機をリセットする

初めて使う時や、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。
まずフロントパネルを取り外し、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

ご注意

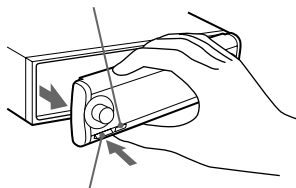
リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外しが可能です。ご使用にならない場合は、フロントパネルを取り外し、盗難を防止してください。

警告音について

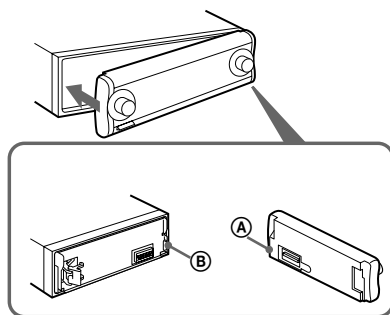
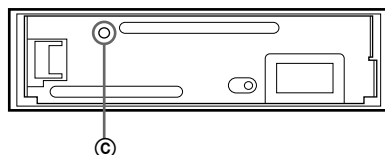
フロントパネルを外さずに、イグニッションスイッチをOFFへ回した場合、警告音が数秒間なります。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、RELEASEボタンを押してください。フロントパネルをまっすぐに引いて外してください。

⚠注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓を押したり、強い力をあたえないでください。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース（付属）に入れてください。
- CDの取り出し中に、フロントパネルを外さないでください。ディスクトレイが出てくる前にフロントパネルを外すと、CDはイジェクトされません。

取り付けかた

フロントパネルのⒶ部分と本体のⒷ部分を合わせて、ロックされるまで押し込んでください。

フロントパネルを忘れた場合など、フロントパネルを外した状態でCDを取り出すには、Ⓒの穴につま楊枝などを入れ、中にあるOPEN/CLOSEボタンを押してください。

初期設定をする

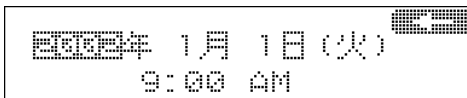
本機を初めてお使いになるとき、バッテリーを交換したとき、リセットボタンを押したときは、システムの初期設定が必要です。カレンダー/時計を正しく設定しないと、HDD再生履歴を正しく行えないことがあります。

ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
- 「AM」または「PM」表示は設定時刻に連動して自動的に切り換わります。
- 曜日表示はカレンダーに連動して自動的に切り換わります。
- 手順3で、F1（←）ボタンを押すと、一項目前の設定にカーソルが戻ります。

1 リセットボタンを押す。（9ページ）

2 フロントパネルを取りつける。（9ページ）

カレンダー/時計設定画面が表示されます。

3 カレンダー/時計を設定する。

❶ 右ダイヤルを回して「年」を合わせ、右ダイヤルを押す。

❷ 右ダイヤルを回して「月」を合わせ、右ダイヤルを押す。

❸ 手順1〜2を繰り返し、「日」、「時」、「分」を合わせる。

設定日時が表示され、時計画面が表示されます。

初期設定後にカレンダー/時計を合わせるには

MENUボタンを押し、「Setup」内の「Time Set」を選び、右ダイヤルを押す。

デモンストレーションディスプレイをOffにする

「Demonstration」の初期設定は「On」です。カレンダー/時計を設定した後にかならず「Off」にしてください。

1 MENUボタンを押す。

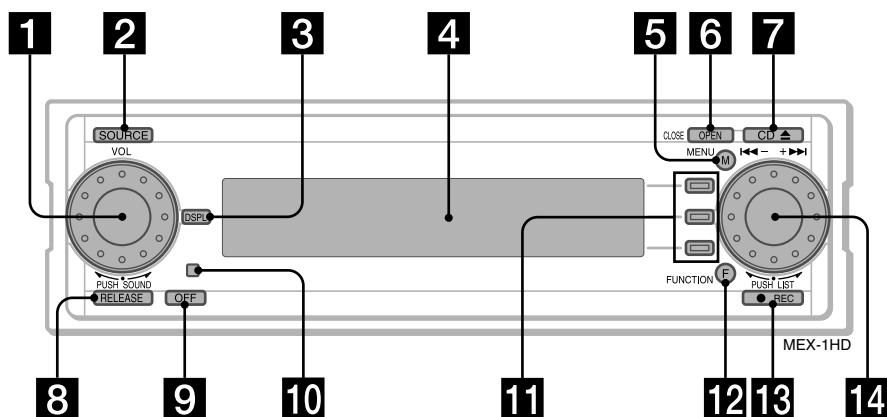
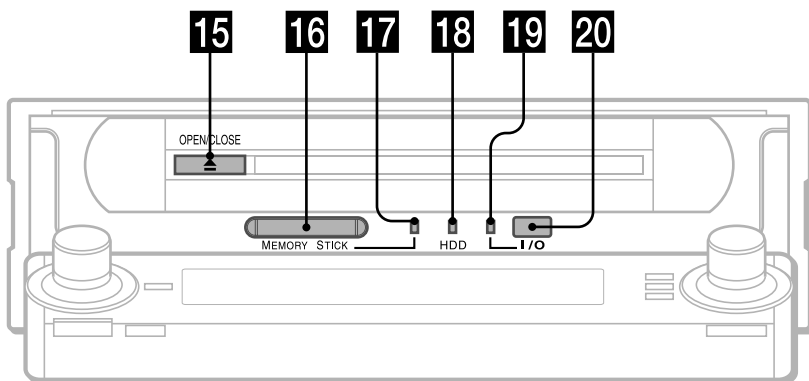
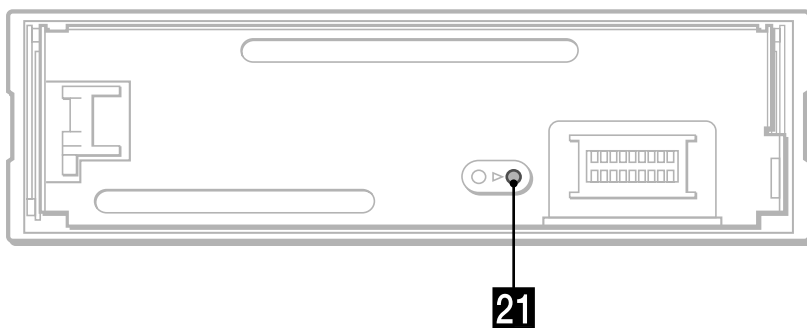
2 右ダイヤルを回して「Display」を選び、右ダイヤルを押す。

3 右ダイヤルを回して「Demonstration」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Off」を選び、右ダイヤルを押す。

5 F3（◢ıı）ボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

各部のなまえ

フロントパネルを開いた状態

フロントパネルを外した状態

1 **左ダイヤル**
（音量調整/サウンド設定項目の選択/サウンドの調節）

回すと

ソース選択時：音量調節	
サウンド設定時：設定項目の選択と調整	

押すと

ソース選択時：サウンドメニュー表示	
サウンド設定時：設定項目の決定	
リスト表示時：通常の画面に戻る	

2 **SOURCE（ソース）ボタン**（FM/AM/CD/HDD/MEMORY STICK/AUX切り換え）

3 **DSPL（ディスプレイ）ボタン**（表示切り換え）

4 **表示窓**

5 **MENU（メニュー）ボタン**（各種設定モードに入る）

6 **OPEN（オープン）(CLOSE（クローズ）)ボタン**（フロントパネルの開閉）

7 **CD⏏ボタン**（ディスクトレイの開閉）

8 **RELEASE（リリース）ボタン**（フロントパネルの取り外し）

9 **OFF（オフ）ボタン**（電源切り）

10 **リモコン受光部**

11 **F1ボタン**（各種設定の切り換え）
F2ボタン（各種設定の切り換え）
F3ボタン（各種設定の切り換え）

12 **FUNCTION（ファンクション）ボタン**（ファンクション切り換え）

13 **●RECボタン**（HDDへの録音設定/開始）

14 **右ダイヤル**（プリセットサーチ/頭出し/メニュー項目選択/各種設定の確定）

回すと

FM/AM選択時：プリセット局の受信	
CD/HDD/MS選択時：曲の選択	
メニュー設定時：設定項目の選択	

押すと

ソース選択時：リスト表示	
メニュー設定時：設定項目の決定	

15 **⏏（OPEN/CLOSE（オープン／クローズ））ボタン**（ディスクトレイの開閉）

16 **“MGメモリースティック”スロット**

17 **LED**（“MGメモリースティック”アクセス時に点灯）

18 **LED**（HDDアクセス時に点灯）

19 **LED**（Digital I/Oアクセス時に点灯）

20 **Digital I/O端子（4ピン）**（ネットワークウォークマンなど接続用）

21 **RESET（リセット）ボタン**

ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

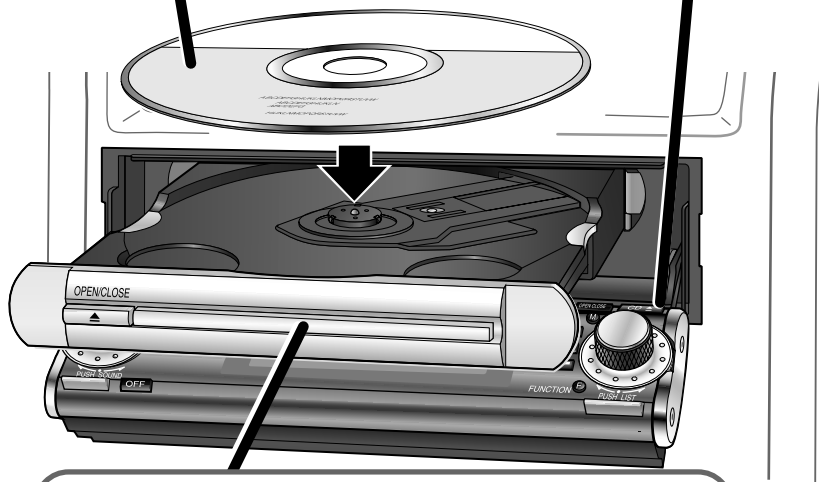
CDの聞きかた

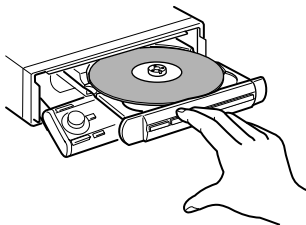
CDを聞く

1 ディスクトレイを開く

CD ⏏ ボタンを押す。

2 CDをディスクトレイに入れる

ラベル面を上にしてトレイに「カチッ」と音がするまではめ込む。

3 ディスクトレイを押して閉じる

自動的に再生を開始します。

ディスクが入っているときは

[SOURCE] ボタンを押して「CD」表示にすると自動的に再生が始まります。

ご注意

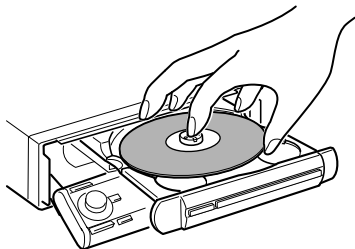
本機にCDが挿入されていない場合、SOURCEボタンを繰り返し押しても、ソース（「CD」）を選択することはできません。

再生を止める/電源を切るには

[OFF] ボタンを押します。

CDを取り出すには

[CD ▲] ボタンを押すと、自動的にトレイが開きます。

ディスクトレイ中央の突起部分を押さえ、トレイの溝からディスクを持ち上げるようにして外します。

CDを自動再生するには

CD Auto Playの設定（32ページ）を「On」にすると、ディスクトレイが閉じた後、自動でCDを再生します。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると故障の原因になりますので使用しないでください。

CDレンズについて

- ディスクトレイにあるCDレンズには触れないでください。
- 市販のレンズクリーナーなどを使用しないでください。

聞きたいところを探す（手動サーチ）

❶ FUNCTION ボタンを繰り返し押し、ファンクションキーを表示します。

❷ F1またはF2ボタンを押し続け、聞きたいところで離します。

F1（◀◀）：前に戻す
F2（▶▶）：先に進める

曲の頭出しをする（自動選曲センサー（AMS））

再生したい曲番号が表示されるまで右ダイヤルを回します。

曲の頭や前の曲へ戻す

次の曲へ進む

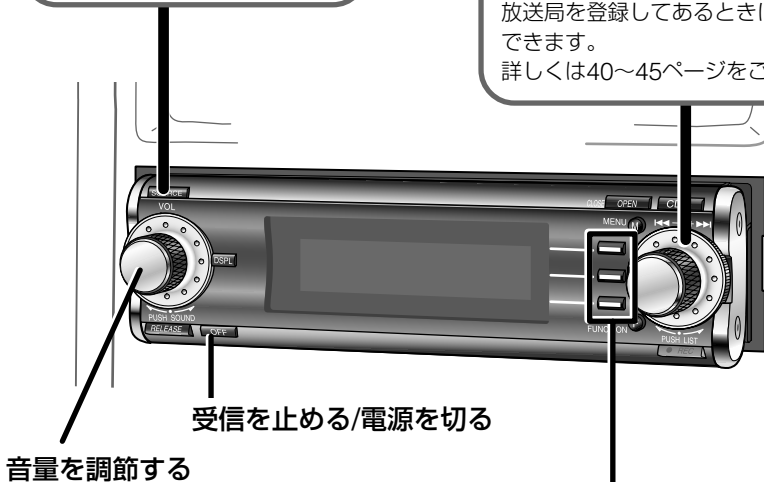
ディスクトレイとフロントパネルは「ピピッ」という音の後に自動的に閉まります。

ご注意

- 開いた状態のフロントパネルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。
- ディスクを2枚以上入れないでください。

CDの聞きかた

ラジオの聞きかた

ラジオを聞く

自動選局で受信する（自動選局）

❶ FUNCTIONボタンを繰り返し押し、表示窓右端に「◢SEEK」、「SEEK◣」を表示する。
❷ F1またはF2ボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押す。

F1（◢SEEK）：**前の放送局を探す**

F2（SEEK◣）：**次の放送局を探す**

希望の放送局を受信する（手動選局）

❶ FUNCTIONボタンを繰り返し押し、表示窓右端に「◢SEEK」、「SEEK◣」を表示する。
❷ F1またはF2ボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離す。

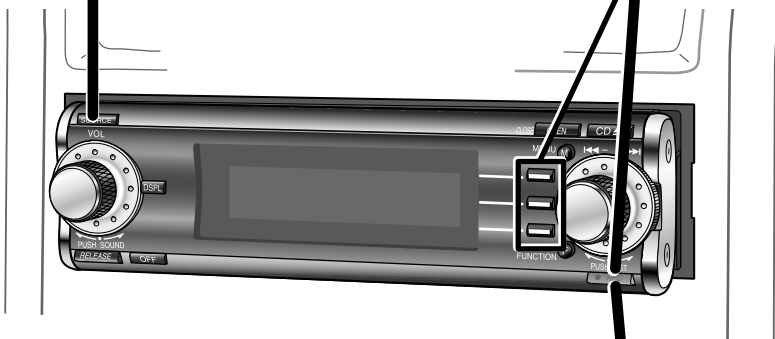
F1（◢SEEK）：**低い周波数の放送局を探す**

F2（SEEK◣）：**高い周波数の放送局を探す**

＊SOURCEボタンを押した時の「AM」表示の有無を設定することができます。SOURCEボタンを繰り返し押しても「AM」が表示されない場合は、「音や表示などの設定を換える」（89ページ）の「AM Skip」を「Off」に設定してください。

HDDの使いかた

CDをHDDに録音する

1 CDを選ぶ

2 録音設定画面にする

● RECボタンを押す。

録音設定を換えるには

ビットレートを換える（132k ↔ 105k）：F1ボタン
録音速度を換える（HI-REC ↔ ×1 REC）：F2ボタン
録音設定画面を解除する（◢▮▮）：F3ボタン

3 録音を開始する

● RECボタンを押す。
録音を停止する（■）：F1ボタン

録音中にラジオを聞くには

SOURCEボタンを繰り返し押し、「FM」または「AM」を選ぶ。
SOURCEボタンを押すたびに、ソースは以下のように切り換わります。
FM → AM → AUX → CD → FM
CDを選んだ場合、録音中の曲が再生されます。

「Rec Continue」の初期設定は「On」です。
ACCをオフにした場合でも、録音を続け、録音完了後に自動的に本機の電源を切ります。
詳しくは「音や表示などの設定を換える」（89ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

HDD内のしくみ

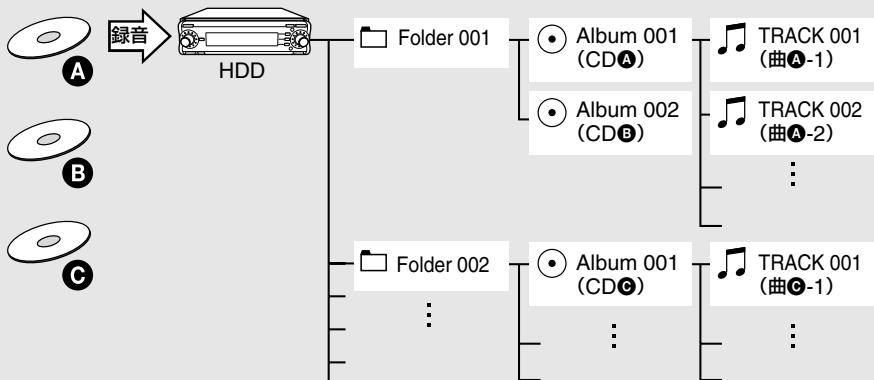
曲はフォルダーで分類します

曲を録音するたびに新しいアルバムが自動的に作られ、そのアルバムの中に曲が納められます。これらのアルバムは、フォルダーに分類して録音することができます。

録音時に分類する

- **フォルダーを選ばずに録音すると…（イラスト中のCD Ⓐ、Ⓑ）**
  自動的にFolder 001フォルダーに録音されます。録音した曲は、録音した後にお好みのアルバムに移動することができます。同様にアルバムをお好みのフォルダーに移動することができます。詳しくは「フォルダー/アルバム/曲を移動する」（56ページ）をご覧ください。
- **フォルダーを選んで録音すると…（イラスト中のCD Ⓒ）**
  新しく追加したフォルダーを選んで録音します。詳しくは「アルバム/曲を録音する」（50ページ）、「フォルダー/アルバムを作る」（55ページ）をご覧ください。
  フォルダー名は、お好みで変更することができます。詳しくは「名前をつける」（52ページ）をご覧ください。

HDD内のフォルダー、アルバム、曲の構成

（例）
- CD Ⓐ、Ⓑはフォルダーを選ばずに録音した場合
- CD ⒸはFolder 002を選んで録音した場合

ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品の不具合により、録音できなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

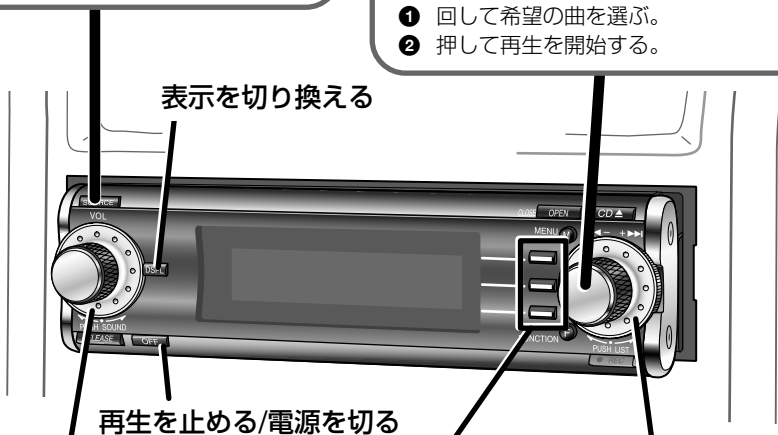
HDD内の音楽ファイルを聞く

1 HDDを選ぶ

HDD内の最後に録音されたCD（アルバム）の1曲目から自動的に再生が始まります。

2 リスト表示にする

右ダイヤルを押すたびにアルバム名リスト→曲名リストと切り換わります。

希望の曲を再生する

❶ 回して希望の曲を選ぶ。
❷ 押して再生を開始する。

聞きたいところを探す（手動サーチ）

❶ FUNCTION ボタンを繰り返し押し、ファンクションキーを表示します。
❷ F1またはF2ボタンを押し続け、聞きたいところで離します。
F1（◀◀）：前に戻す
F2（▶▶）：先に進める

曲の頭出しをする（自動選曲センサー（AMS））

再生したい曲番号が表示されるまで右ダイヤルを回します。

曲の頭や前の曲へ戻す

次の曲へ進む

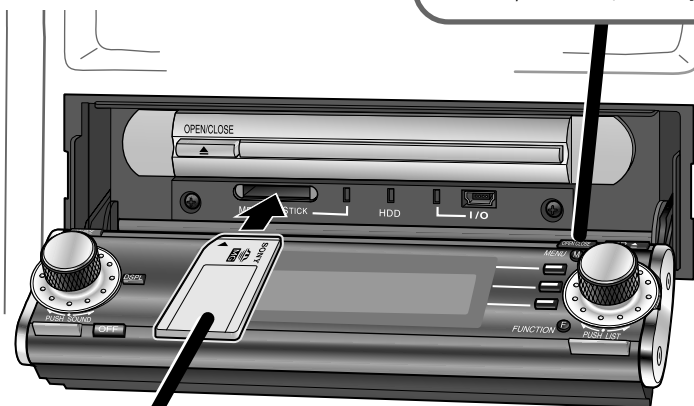
ご注意

本機のHDDを初めてお使いになる時や、HDDに何も記録されていない場合、SOURCEボタンを繰り返し押しても、ソース（「HDD」）を選択することができません。
この場合、CDをHDDに録音してください。
（17ページ）

“MGメモリースティック”の使いかた

音楽ファイルを聞く

1 フロントパネルを開く

OPEN/CLOSEボタンを押します。

2 “MGメモリースティック”を差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

ご注意

本機に“MGメモリースティック”が挿入されていない場合、SOURCEボタンを繰り返し押しても、ソース（「MEMORY STICK」）を選択することができません。

ちょっと一言

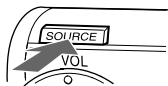
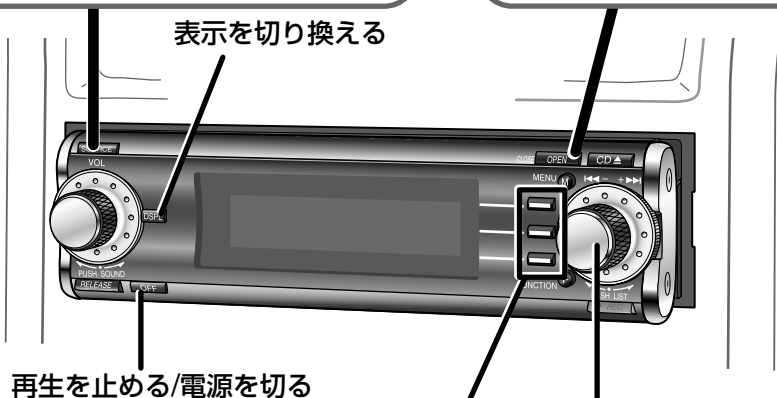
- 再生コンテンツがない場合は、「NO CONTENTS」と表示されます。
- 次の曲は再生できません。
  — 再生回数制限のある曲
  — 再生時限の過ぎた曲

4 MEMORY STICK を選ぶ

SOURCEボタンを繰り返し押す。自動的に再生を開始します。

3 フロントパネルを閉じる

表示を切り替える

再生を止める/電源を切る

聞きたいところを探す（手動サーチ）

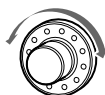
❶ FUNCTION ボタンを押し、表示窓右端に「◀◀」、「▶▶」を表示する。

❷ F1またはF2ボタンを押しつづけ、聞きたいところで離す。

F1（◀◀）：前に戻す
F2（▶▶）：先に進める

曲の頭出しをする（自動選曲センサー（AMS））

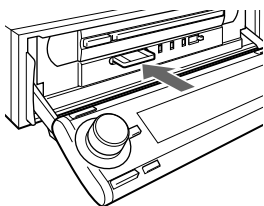
再生したい曲番号が表示されるまで右ダイヤルを回す。

曲の頭や前の曲に戻す

次の曲へ進む

"MGメモリースティック"が入っているときは

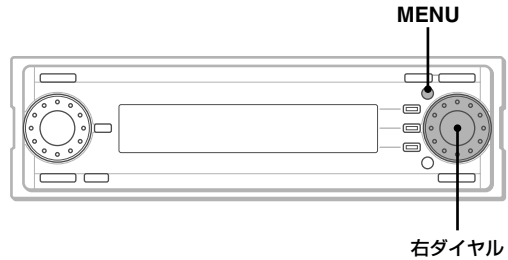
SOURCE ボタンを繰り返し押して「MEMORY STICK」を選ぶと自動的に再生を開始します。

"MGメモリースティック"を取り出すには

"MGメモリースティック"を軽く一回押し、指を離してから引き抜いてください。

ご注意

- "MGメモリースティック" は正しい向きで入れてください。
- 差し込んだ "MGメモリースティック" は無理に引き抜かないでください。

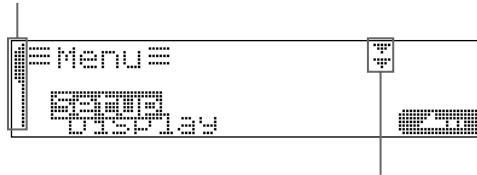
メニュー操作について

表示設定、再生設定、受信設定など、
本機の各種設定や調整を行います。

ちょっと一言

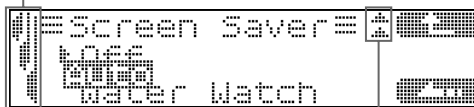
選択されたソースにより、表示されるメニュー項目は異なります。各種設定や調整項目について、詳しくは「音や表示などの設定を換える」（89ページ）をご覧ください。

メニュー画面で設定を換えるには

例：「Screen Saver」を「Auto」に設定する場合

1 MENUボタンを押す。

2 右ダイヤルを回して「Display」を選び、右ダイヤルを押す。

3 右ダイヤルを回して「Screen Saver」を選び、右ダイヤルを押す。

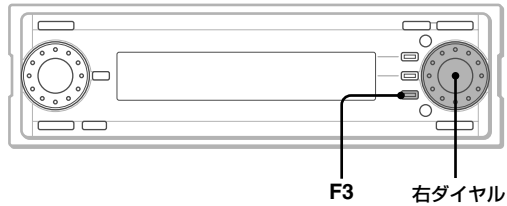
メニュー内の第3階層にいることを意味します。

上に階層があることを意味します。

4 右ダイヤルを回して「Auto」を選び、右ダイヤルを押す。

5 MENUボタンを押す。

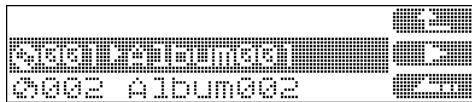
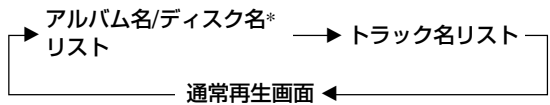
通常の画面が表示されます。

リスト操作について

選ばれたソースに合わせて、放送局やフォルダー、アルバム、曲をリスト表示させ、希望の項目の受信/再生を行います。

ちょっと一言
MENUボタンを押すと、選んだ項目に対して、ムーブやイレースなどの操作をすることができます。（56〜59ページ）

リスト画面で登録された項目を選ぶには

1 ソース選択後、右ダイヤルを押す。

リスト画面が表示されます。

「CD」、「HDD」または「MEMORY STICK」が選ばれている場合：
項目を選び右ダイヤルを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

「FM」または「AM」が選ばれている場合：
プリセット局のリストが表示されます。

＊ 「CD」が選択されている場合のみ表示されます。

2 右ダイヤルを回して希望の項目（放送局、アルバム、曲）を選ぶ。

3 右ダイヤルを押す。

希望の項目が受信/再生されます。

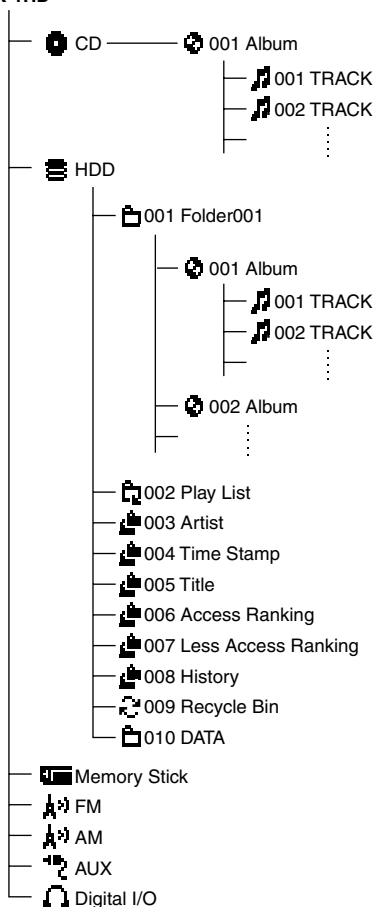
フォルダー名リスト、ソースリストを表示するには

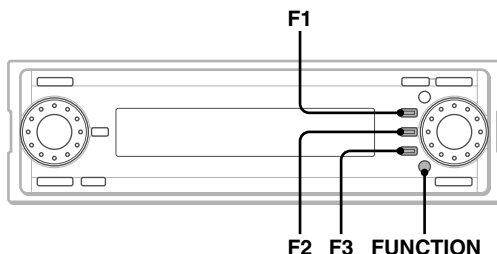
手順1でアルバム名リストを表示させた後、F1（⮤）ボタンを押す。

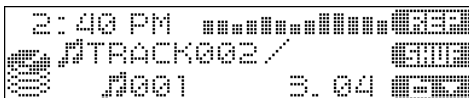
F1ボタンを押すごとに表示は次のように切り換わります。

アルバム名リスト→フォルダー名リスト→ソースリスト

リストの構成について

リスト操作について

ファンクション操作について

選ばれたソースに合わせて各機能、受信モード、再生モードなどの切り換えを行い、F1〜F3ボタンのそれぞれに機能が割りあてられます。

ファンクションキーを切り換える

1 ソース選択後、FUNCTIONボタンを繰り返し押し、ファンクションキーを表示する。

2 F1〜F3ボタンを押し、各種機能やモードの選択を行う。

選ばれたソースによりFUNCTIONボタンを押すごとに、ファンクションメニューは以下のように切り換わります。

「FM」または「AM」が選ばれている場合：

F1:	◀SEEK		AREA		
F2:	SEEK▶	→	LOCAL	→	
F3:	TI		FM/AM		

「CD」、「MS」または「HDD」が選ばれている場合：

F1:	◀◀		REP		
F2:	▶▶	→	SHUF	→	
F3:	TI		*		

* 🗀 ▼：「HDD」が選択されている場合のみ表示されます。
CDDB/CD TEXT：CD TEXTディスクを再生している場合のみ表示されます。
Gracenote CDDB®でタイトル情報が重複して検索された音楽CDを再生している場合のみ表示されます。

「AUX」が選ばれている場合：

F1:	–		
F2:	–	→	
F3:	TI		

各ソースを選択したとき

SEEK/SEEK：
放送局を探す（自動選局、マニュアル選局）。
AREA： エリアコールを実行する。
LOCAL： ローカルモードのOn/Offを切り換える。
AM/FM： FM/AMを切り換える。
◀◀/▶▶： 再生曲の聞きたいところを探す。
REP： リピートモードを切り換える。
SHUF： シャッフルモードを切り換える。
▼： 次のフォルダーへ切り換える
CDDB/CD TEXT：
CD TEXTディスクを再生中に表示（CD TEXT/Gracenote CDDB®情報）を切り換える。
CDDB： Gracenote CDDB®でタイトル情報が重複して検索された音楽CDを再生中に、 Gracenote CDDB®情報を切り換える。
TI： 道路交通情報に切り換える。
： SAの表示パターンを切り換える。
： スクリーンセーバーの表示パターンを切り換える。
： ディスプレイのOn/Offを切り換える。

MENU設定中

： 一画面前に戻る。
： 通常画面にもどる。
CANCEL：
選択した項目、モードを解除する。
ENTER： 選択した項目を決定する。
ALL： 選択項目の一括選択、一括解除する。
CREATE：
フォルダー/アルバムを作る。

LIST表示中

： 一画面前に戻る。
▶： 受信/再生を行う。
： 通常画面に戻る。

Name In中

←： カーソルを左へ移動する。
→： カーソルを右へ移動する。
ENTER： 入力文字を登録する。
CLEAR： 入力文字を削除する。
CANCEL：入力文字を全て取り消す。
ヘンカン： 入力文字を漢字に変換する。

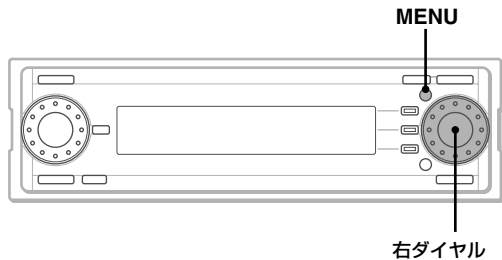
REC設定中

132K/105K：
ビットレートを切り換える。
HI-REC/x1-REC：
高速録音、通常録音を切り換える。
： 通常画面に戻る。
ALL： 選択項目の一括選択、一括解除する。
■： 録音を中止する。
CREATE： フォルダー/アルバムを作る。

SOUND設定中

： 一画面前に戻る。
： 通常画面に戻る。
INIT： 初期設定値に戻す。
TUNE： 調整画面に切り換える。
LPF： ローパスフィルターの調整画面に切り換える。
HPF： ハイパスフィルターの調整画面に切り換える。

コンテンツの情報を確認する

HDDの残容量や、その曲のチェックイン/チェックアウトなどが可能かを確認することができます。

ご注意

- 再生していない曲は、「--」と表示されることがあります。
- 再生していない曲のアルバム名は空白になることがあります。
- Informationで表示されている演奏時間と、実際に再生される時間に若干の違いがある場合があります。
- MP3ファイルを記録した多層構造のCDでは、現在選んでいるフォルダー内にある階層のコンテンツ（フォルダーやファイル）のみの表示となります。次の階層のコンテンツを表示させるには、そのフォルダーを選びます。

1 **右ダイヤルを押して希望のコンテンツリストを表示する。**

2 **右ダイヤルを回して希望の項目を選び、MENUボタンを押す。**

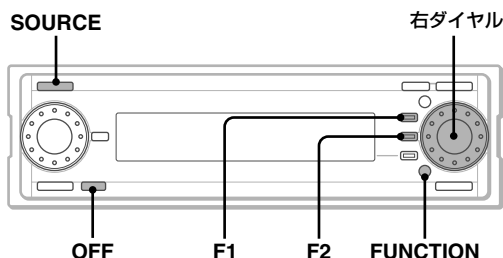
3 **右ダイヤルを回して「Information」を選び、右ダイヤルを押す。**

情報表示画面が表示されます。

選択したソースにより次の項目が表示されます。

— HDD残容量
— フォルダー/アルバム/曲数
— チェックイン・チェックアウトの可/不可
— ムーブイン・ムーブアウトの可/不可
— インポートの可/不可
— 演奏時間
— ビットレート
— 作成時間
— 再生回数制限の有/無
— 再生時限の有/無

CD/HDD/“MGメモリースティック”の曲を聞く

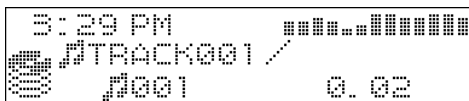
音楽CD、HDD、“MGメモリースティック”へ録音した音楽データを再生します。またCD TEXTディスクや各コンテンツの文字情報（フォルダー名、アルバム名、曲名、アーティスト名など）を表示します。

CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

ちょっと一言

CD選択時、ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。

SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」、「HDD」または「MEMORY STICK」を選ぶ。

最初の曲が自動的に再生されます。

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押す。

聞きたい曲を選ぶには

再生中に右ダイヤルを回す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

❶ **再生中にFUNCTIONボタンを繰り返し押し、ファンクションキーを表示する。**

❷ **F1（◀◀）またはF2（▶▶）ボタンを押し続け、聞きたいところで離す。**

CD／HDD／MGメモリースティック

次のページへつづく

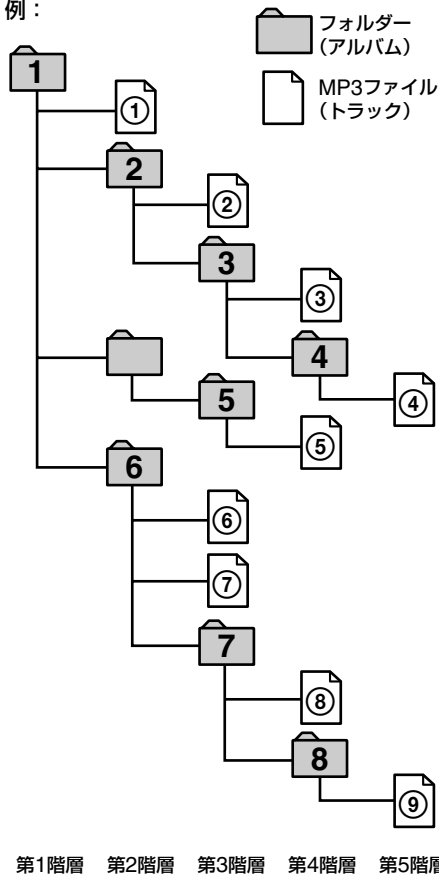
ご注意
- MP3ファイルを含まないフォルダーは無視します。
- ディスクに含まれるMP3ファイル、フォルダーは合わせて最大512個までです。ファイル名、フォルダー名の文字数が多い場合は、512個以下になることがあります。
- 最大8階層まで再生できます。
- “MGメモリースティック”内にATRAC3とMP3の両方のファイルがある場合は、ATRAC3ファイルのみを再生します。（MP3ファイルは再生および表示されません。）
- MP3ファイルを“メモリースティック”内のHIFIフォルダー、CONTROLフォルダーに入れないでください。MP3ファイルが再生、表示されなくなります。

ちょっと一言

同一階層内のフォルダーやファイルはライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるため、フォルダー名・ファイル名のはじめに数字（01、02など）をつけることで再生順序を指定できることがあります。

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次の通りです。

例：

ちょっと一言

- MP3ファイルの曲名表示では、ID3タグがついている場合、ID3タグ情報を優先して表示します。
- ID3タグはver.1、ver.2(文字情報のみ)に対応しています。ID3タグver.1とver.2の情報を含んでいる場合、ver.2の情報を優先して表示します。
- MP3ファイル再生時は、フォルダー名の代わりにDISCボリューム名、アーティスト名の代わりにフォルダー名が表示されます。
- MP3ファイルのID3タグは「曲名/アーティスト名」と順に表示します。
- "MGメモリースティック"内の音楽ファイル名は、ISO 9660に準拠して表示されます(106ページ)。

ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。
- MP3ファイル再生時、次の場合には再生経過時間表示が実際と異なることがあります。
  - —VBR(Variable Bit Rate:可変ビットレート)のMP3ファイルを再生したとき
  - —早送り、早戻し(手動サーチ)をした時

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

HDDの再生の場合

A時計/S.A.表示 B曲名/アーティスト名 C曲番号/再生経過時間

↓

A時計/S.A.表示 Bアルバム名/アーティスト名 C曲名/アーティスト名

↓

Aアルバム名/アーティスト名 B曲名/アーティスト名 C曲番号/再生経過時間

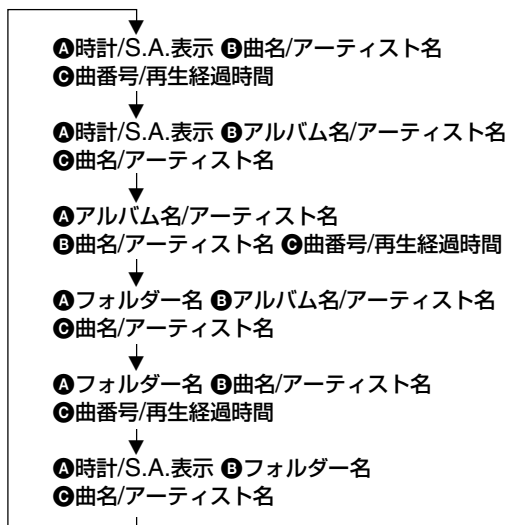
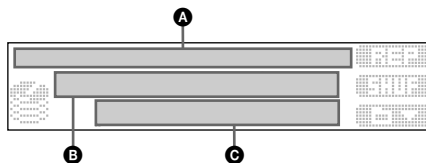
↓

Aフォルダー名 Bアルバム名/アーティスト名 C曲名/アーティスト名

↓

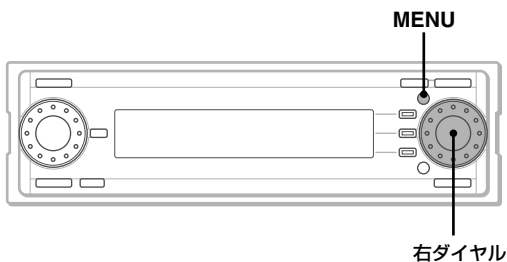
Aフォルダー名 B曲名/アーティスト名 C曲番号/再生経過時間

↓

A時計/S.A.表示 Bフォルダー名 C曲名/アーティスト名

Gracenote CDDB®について

- 本機にはGracenote CDDB® Music Recognition Service℠ (CDデータベース) が内蔵されています。音楽CDを再生するとGracenote CDDB® Music Recognition Service℠にアクセスし、タイトル情報 (アルバム名、曲名、アーティスト名) を表示します。CDをはじめて再生する時のみGracenote CDDB® Music Recognition Service℠にアクセスし、アクセス中に「Accessing Gracenote CDDB」と表示します。
- CD TEXTディスクを再生する時はCD TEXTを優先表示します。Gracenote CDDB®情報に切り換えるには、FUNCTIONボタンを押し、「CDDB」を表示させF3ボタンを押します。
- Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠については、本機に内蔵のデータベース、インターネットのデータベースともにデータの内容を100%保証するものではありません。データが正しくなかった場合は本機 (52ページ) またはMobile Library Managerで編集することができます。(95ページ)
- 曲数の少ないCD (CDシングル、マキシシングルなど) を全く別のCDと認識し、そのタイトルを表示した場合は本機 (52ページ) またはMobile Library Managerで編集することができます。(95ページ)

CDを自動で再生させる

CD挿入後、ディスクトレイを閉じると、自動的に一曲目から再生します。

1 MENUボタンを押す。

2 右ダイヤルを回して「Setup」を選び、右ダイヤルを押す。

3 右ダイヤルを回して「CD Auto Play」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「On」を選び、右ダイヤルを押す。

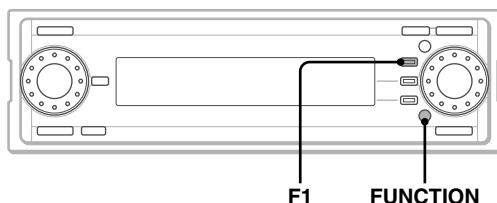
5 F3（◢ıı）ボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

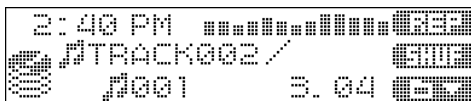
オートプレイを解除するには

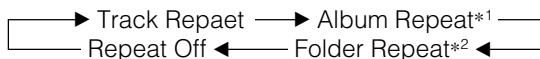
手順4で「Off」を選ぶ。

繰り返し聞く
（リピート再生）

再生中の曲、アルバム内の全曲またはフォルダー内の全曲を繰り返し聞くことができます。

ちょっと一言

- 再生中にMENUボタンを押し、「Play Mode」設定の中の「Repeat」でも再生モードを設定することができます。
- 選択したソースにより、切り換わる再生モードの順番が異なります。

1 CD、HDDまたは“MGメモリースティック”の再生中にFUNCTIONボタンを繰り返し押して、ファンクションメニュー「REP」を表示する。

2 F1（REP）ボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

F1（REP）ボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

*1「HDD」選択時のみ表示されます。
*2「HDD」選択時、MP3ファイル再生時のみ表示されます。

項目	機能
Track Repeat	再生している曲を繰り返す。
Album Repeat	再生しているアルバムを繰り返す。
Folder Repeat	再生しているフォルダーを繰り返す。

リピート再生をやめるには

手順2でF1（REP）ボタンを繰り返し押して、「Repeat Off」を選ぶ。

曲順を変えて聞く
（シャッフル再生）

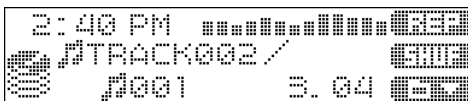
再生中のアルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはフォルダー内の全アルバムの曲順を換えて聞くことができます。

ご注意

「All Shuffle」でCDとHDD、"MGメモリースティック" をシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

- 再生中にMENUボタンを押し、「Play Mode」設定の中の「Shuffle」でも再生モードを設定することができます。
- 「All Shuffle」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。
- 選択したソースにより、切り換わるモードの順番が異なります。

1 CD、HDDまたは"MGメモリースティック"の再生中にFUNCTIONボタンを繰り返し押して、ファンクションメニュー「SHUF」を表示する。

2 F2（SHUF）ボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

F2（SHUF）ボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

*1 「HDD」選択時のみ表示されます。
*2 「HDD」選択時、MP3ファイル再生時のみ表示されます。

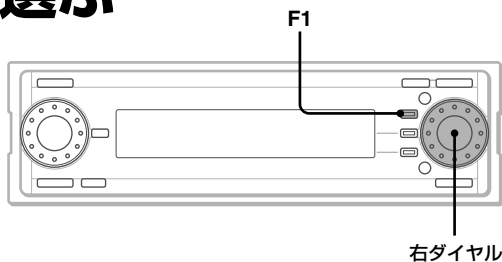
項目	機能
Album Shuffle	再生しているアルバム内の全ての曲を順不同に再生する。
Folder Shuffle	再生しているフォルダー内の全ての曲を順不同に再生する。
All Shuffle	すべてのフォルダーの全ての曲を順不同に再生する。

シャッフル再生をやめるには

手順2で、F2ボタンを繰り返し押して、「Shuffle Off」を選ぶ。

聞きたいフォルダー/アルバム/曲を選ぶ
（リスト）

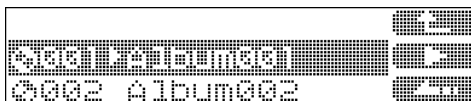
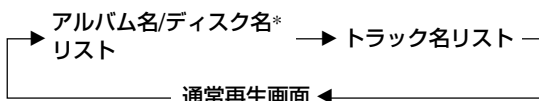
リスト表示されたフォルダー名/アルバム名（ディスク名）/曲名の中より希望の音楽ファイルを選び再生することができます。

ご注意

CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。

ちょっと一言

- 現在再生中のタイトル名のの左側には「▶」が表示されます。
- 選択した項目が再生可能な場合、ファンクションキー「▶」が表示されます。
- 手順1で、F2（▶）ボタンを押すと、Album 001/Track 001から再生が始まります。
  例：Folder 003を選んだ場合
  Folder 003内のAlbum 001が選ばれ、Album 001内のTrack 001が再生されます。

1 **CD、HDDまたは“MGメモリースティック”再生中に右ダイヤルを押す。**

アルバム名リストが表示されます。

右ダイヤルを押すたびに表示は次のように切り換わります。

＊「CD」が選択されている場合のみ表示されます。

2 **右ダイヤルを回して希望の項目を選び、右ダイヤルを押す。**

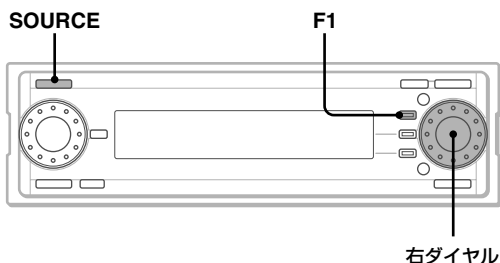
再生が始まります。

フォルダー名リストを選ぶには

手順1でアルバム名リストを表示させた後、F1（↰）ボタンを押す。

CD／HDD／MGメモリースティック

聞きたい曲を探す

タイトルやアーティスト名などの条件に合わせて、聞きたい曲を探し出すことができます。

1 SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 右ダイヤルを押し、F1（↰）ボタンを押してフォルダーリストを表示する。

3 右ダイヤルを回して、希望するソートフォルダーを選び、右ダイヤルを押す。

項目	説明
Folder 001	録音されたアルバム/曲を順番に表示する。
Play List	登録されたアルバム/曲のみを順番に表示する。曲の登録に関して詳しくは「好きな曲を集めて聞く」（38ページ）をご覧ください。
Artist	アーティスト名順に並べ換えられたアルバムを表示する。（アルバムはアーティスト別に作成され、曲が割り振られます。）
Time Stamp	曲を、録音順に並べ換えて表示する。 「Normal」→録音順に並べ換えます。 「Reverse」→録音順を逆に並べ換えます。

項目	説明
Title	曲をタイトル順に並べ換えて表示する。 「"ABC"」→ABC順に並べ換えます。 「Reverse」→ZYX…の順に並べ換えます。
Access Ranking	今までに聞いた回数の多い曲、上位50曲と上位10曲を順に並べ換え表示する。 「Top50」→上位50曲を順に表示する。 「Top50（Count Down)」→上位50曲をカウントダウンで表示する。 「Top10」→上位10曲を順に表示する。 「Top10（Count Down)」→上位10曲をカウントダウンで表示する。
Less Access Ranking	今までに聞いた回数の少ない曲、上位50曲と上位10曲を順に並べ換えて再生する。 「Bottom50」→上位50曲を順に再生する。 「Bottom50（Count Down)」→上位50曲をカウントダウンで再生する。 「Bottom10」→上位10曲を順に再生する。 「Bottom10（Count Down)」→上位10曲をカウントダウンで再生する。
History	最近聞いた曲を、再生順に並べ換えて再生する。 「Normal」→曲を順に並べ換えます。 「Reverse」→曲を逆順に並べ換えます。

4 右ダイヤルを回して希望する検索項目を選び、右ダイヤルを押す。

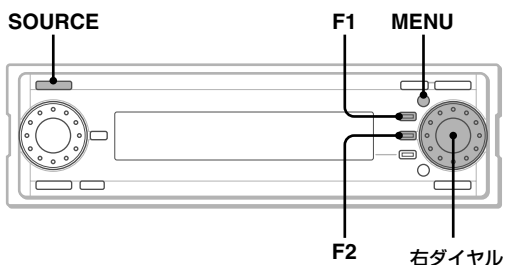
5 右ダイヤルを回して希望の曲を選び、右ダイヤルを押す。

通常の再生画面が表示されます。

ちょっと一言

選択した曲が入っているアルバム内の曲を順番に再生します。

好きな曲を集めて聞く
(Play List)

好きな曲を選んでPlay Listに登録しておくと、次からはPlay Listフォルダーを選ぶだけで聞くことができます。

ちょっと一言
- 1つのPlay Listに登録できる曲数は最大で400曲です。
- Play Listフォルダーに登録されるのは曲の音楽データではなく情報データだけなので、メモリーの使用が少なくてすみます。
- Play Listに曲を登録する場合、初期設定では全ての曲が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

Play Listに登録するには

1 SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

3 右ダイヤルを回して「Play List」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Entry」を選び、右ダイヤルを押す。

曲名リストが表示されます。

5 右ダイヤルを回し、Play Listに登録する曲を選び、右ダイヤルを押す。

Play Listに登録される曲に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには
右ダイヤルをもう一度押す。

6 手順5を繰り返し、Play Listに登録する曲を選ぶ。

7 F1（ENTER）ボタンを押す。

8 登録するPlay List フォルダー/アルバムを選ぶ。

❶ フォルダー名リストを表示させる。

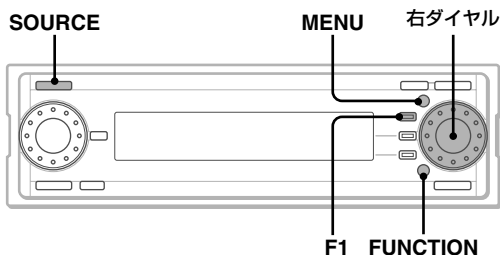
❷ 右ダイヤルを回して希望のPlay Listフォルダーを選び、右ダイヤルを押す。

Play Listフォルダーを新規作成する場合は、F2（CREATE）ボタンを押す。

❸ 右ダイヤルを回して希望のPlay Listアルバムを選び、右ダイヤルを押す。

通常の画面が表示されます。

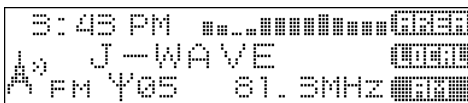
放送局を自動で登録する

FMに20局、AMに10局まで登録できます。登録には、地域を指定して放送局を登録するエリアコールと、受信状態の良い放送局を周波数順に登録するB.T.M.があります。

ちょっと一言

- エリアコールとは、地域別にあらかじめ登録されている放送局のことです。地域を指定するだけで受信できる放送局が一度にプリセットメモリーに登録されます。
- ラジオ受信中にMENUボタンを押し「Preset Edit」設定の中の「Area Call」でも同様の設定を行うことができます。
- 手順1で「AM」を選んでエリアコールを設定しても、登録が終了するとFM受信に切り換わります。

エリアコールを設定する

1 SOURCEボタンを押し「FM」または「AM」を選ぶ。

2 FUNCTIONボタンを繰り返し押し、ファンクションキー「AREA」を表示させる。

3 F1(AREA)ボタンを繰り返し押して、希望のエリアを選ぶ。

エリアコール画面が表示され、放送局が登録されます。

4 右ダイヤルを回して希望のエリアを選ぶ。

詳しくは「エリアコール一覧」(116ページ)、「放送局一覧」(117ページ)をご覧ください。

5 右ダイヤルを押す。

放送局が登録されます。

受信状態の良い放送局を設定する（B.T.M.）

1 **SOURCEボタンを繰り返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ。**

2 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

3 **右ダイヤルを回して「Preset Edit」を選び、右ダイヤルを押す。**

4 **右ダイヤルを回して「B.T.M.」を選び、右ダイヤルを押す。**

「B.T.M.」（ベストチューニングメモリー）が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の表示に戻ります。

登録した放送局を消去するには

❶ ラジオ受信中に、右ダイヤルを押す。

❷ 右ダイヤルを回して消去したい放送局を選び、MENUボタンを押す。

❸ 右ダイヤルを回して「Erase」を選び、右ダイヤルを押す。

❹ 右ダイヤルを押して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

❺ F3（◢ıı）ボタンを押す。

消去をやめるには

手順❹で「Cancel」を選ぶ。

ちょっと一言

SOURCEボタンを繰り返し押しても「AM」が表示されない場合は、「音や表示などの設定を換える」（89ページ）の「AM Skip」を「Off」に設定してください。

B.T.M.（ベストチューニングメモリー）機能とは

受信状態の良い放送局を選んで自動的にプリセットする機能です。現在選択されているバンド（FMまたはAM）の一番低い周波数から放送局を探し始めます。放送局を受信すると、現在選択されているプリセット番号に登録します。プリセット番号が表示されていないときは、1番から順に登録します。
本機は、すべてのプリセット番号に登録し終わっても引き続き放送局を探し、すでに登録されている放送局よりも受信状態の良い放送局が見つかると、その放送局を登録し直します。登録された放送局は最後に周波数の低い順に並べ換えられます。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

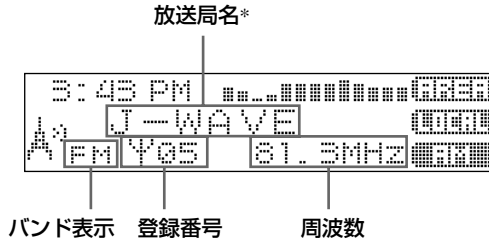
ラジオ

次のページへつづく

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に右ダイヤルを回して聞きたい放送局を選ぶ。

表示窓の見かた

＊ 名前がついている場合のみ表示します。名前の登録のしかたについて詳しくは、46ページをご覧ください。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは（ローカルモード）

放送局がたくさんある地域ではオートチューニングがたびたび止まることがあります。この場合、受信感度を下げて比較的電波の強い放送局を優先して受信することができます。

❶ ラジオ受信中にFUNCTIONボタンを繰り返し押し、ファンクションキー「LOCAL」を表示する。

❷ F2（LOCAL）ボタンを押して、「Local On」にする。

ふつうの受信に戻すには

手順2でF2（LOCAL）ボタンを押して、「Local Off」にする。

ちょっと一言

再生中にMENUボタンを押し、「Receive Mode」設定の中の「Local」項目でもOn/Offの設定をすることができます。

道路交通情報を聞くには（トラフィックインフォメーション）

ラジオ受信中にF3（TI）ボタンを押す。
（ラジオ以外のソースのときは、FUNCTIONボタンを押してからF3（TI）ボタンを押します。その場合、パワーアンテナが自動的に上がります。）
右ダイヤルを回して、周波数（1620kHz/1629kHz）を切り換えることができます。

元のソースに戻すには

F3（TI）ボタンを押す。
（ラジオ以外のソースに戻った場合は、パワーアンテナが自動的に下がります。）

ちょっと一言

- 道路交通情報（AM1620kHzまたは1629kHz）の放送地域内で聞くことができます。
- 「TI」がファンクションメニューに表示されていない場合は、FUNCTIONボタンを繰り返し押します。

ご注意

FM放送が聞きにくい場合は、DSOの設定（80ページ）を「Off」にしてください。

ステレオ放送が聞きにくいとき（モノラルモード）

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

❶ FM受信中にMENUボタンを押す。
❷ 右ダイヤルを回して「Receive Mode」を選び、右ダイヤルを押す。
❸ 右ダイヤルを回して「Mono」を選び、右ダイヤルを押す。
❹ 右ダイヤルを回して「On」を選び、右ダイヤルを押す。
❺ MENUボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順4で「Off」を選ぶ。

ご注意

IF Switchモードを「Wide」にして、雑音が入って聞きにくい場合は、「Auto」に戻してください。

受信周波数を自動的に調整する（IF Switchモード）

FM受信中、受信している周波数の近くに他の放送局があると、混信による雑音で放送が聞きにくくなることがあります。この場合「IF Switch」を「Auto」に設定すると、受信する周波数帯域幅を自動的にせばめて放送を聞きやすくします。このためステレオ放送がモノラルになることがあります。

このような場合でもIF Switchモードを「Wide」に固定するとステレオで聞くことができます。

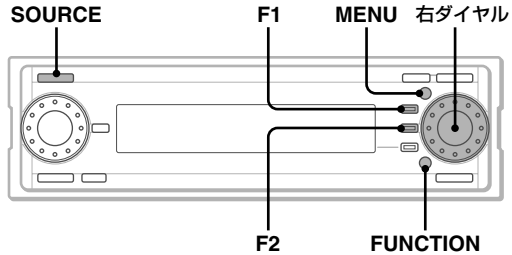
❶ FM受信中にMENUボタンを押す。
❷ 右ダイヤルを回して「Receive Mode」を選び、右ダイヤルを押す。
❸ 右ダイヤルを回して「IF Switch」を選び、右ダイヤルを押す。
❹ 右ダイヤルを回して希望モードを選び、右ダイヤルを押す。

モード	機能
Wide	音質を優先する。
Auto	自動的にモードを切り換える。

❺ F3（◢ııı）ボタンを押す。

ラジオ

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。FMに20局、AMに10局まで登録できます。

エリアコールについて

地域を指定するだけで受信できる放送局を一度に登録します。（40ページ）

警告

安全のため、運転中の選局はB.T.M.（ベストチューニングメモリー）で行ってください。（41ページ）

ちょっと一言

SOURCEボタンを繰り返し押しても「AM」が表示されない場合は、「音や表示などの設定を換える」（89ページ）の「AM Skip」を「Off」に設定してください。

ご注意

すでに登録してあるプリセットメモリーに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

周波数で登録する（マニュアルプリセットメモリー）

1 SOURCEボタンを押して、「FM」または「AM」を選ぶ。

2 FUNCTIONボタンを繰り返し押して、ファンクションキー「◢SEEK」または「SEEK◣」を表示する。

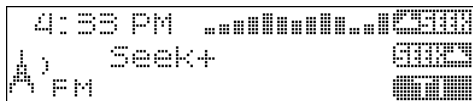
3:42 PM
J–WAVE
FM Y05　81.3MHz

3 Ⓐ **聞きたい放送局の周波数がわかっているとき**

その放送局の周波数になるまで、F1（◢SEEK）またはF2（SEEK◣）ボタンを押し続ける。

Ⓑ **聞きたい放送局の周波数がわからないとき**

F1（◢SEEK）またはF2（SEEK◣）ボタンを押して離す。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

4 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

5 右ダイヤルを回して「Preset Edit」を選び、右ダイヤルを押す。

6 右ダイヤルを回して「Manual」を選び、右ダイヤルを押す。

7 右ダイヤルを回して登録したい番号を選ぶ。

8 右ダイヤルを押す。

放送局が登録され、通常の受信画面が表示されます。

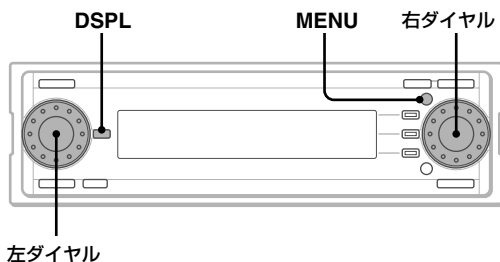
登録した放送局を消去する

❶ ラジオ受信中に、右ダイヤルを押す。
❷ 右ダイヤルを回して消去したい放送局を選び、MENUボタンを押す。
❸ 右ダイヤルを回して「Erase」を選び、右ダイヤルを押す。
❹ 右ダイヤルを押して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。
❺ F3（◢▬ııı）ボタンを押す。

消去をやめるには

手順4で「Cancel」を選ぶ。

放送局に名前をつける
（ステーションメモ）

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。

ちょっと一言

- ひらがな（カタカナ、漢字）で最大15文字（英数文字で最大31文字）までの名前を付けることができます。
- ファンクションキーでも「OK」、「⬅」、「➡」、「CLR」、「NG」を選択することができます。
- 手順5の❷-1で「かな」を選んだ場合、右ダイヤルを回すごとに、⇧ ↔ あ ↔ か ↔ さ ↔ た ↔ な……⇧と切り換わります。
- 手順5の❷-2で、右ダイヤルを回すごとに、⇧ ↔ あ ↔ い ↔ う ↔ え ↔ お ↔ ぁ ↔ ぃ ↔ ぅ ↔ ぇ ↔ ぉ ↔ ⇧と切り換わります。

1 **名前をつけたい放送局を受信する。**

2 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

3 **右ダイヤルを回して「Name In」を選び、右ダイヤルを押す。**

4 **右ダイヤルを回して「Station Memo」を選び、右ダイヤルを押す。**

文字編集画面が表示されます。

ちょっと一言

記号が選ばれている場合、
⬆ ↔（スペース）↔ ! ↔ ”
↔ # ↔ $ ↔ % ↔ & ↔
’ ↔ (↔) ↔ * ↔ + ↔
、 ↔ ー ↔ . ↔ / ↔ : ↔
; ↔ < ↔ = ↔ > ↔ ? ↔
@ ↔ [↔ ＼ ↔] ↔ ^ ↔
_ ↔ ` ↔ { ↔ | ↔ } ↔ ~
↔ ⬆
と切り換わります。
「きごう」または「かお」と入力すると、以下の記号や顔文字に変換することができます。

「きごう」を変換した場合

、 。 ・ ： ； ？ ！ ゝ 〃 仝
々 〆 ～ … ( ) 〔 〕 [ ] { } 〈 〉
《 》「 」『 』【 】× ∞ ♂ ♀ ℃
￥ ＄ £ ＆ ＊ ＠ ☆ ★ ○ ●
◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※
→ ← ↑ ↓ ＃ ♪ Ω

「かお」を変換した場合

(＊_＊) (+_+) (－.－) (－_－)
(－_－;) (..) (._.) (;_;) (>_<)
(@_@) (T_T) (^.^) (^0_0^)
(^0^) (^^) (^_－) (^_^)
(^_^;) (^o^) (__))^o^(
>^_^< ^/^ ^^; ^_^;
_(._.)_ m(__)m

5 名前を入力する。

❶ 右ダイヤルを回して入力する文字の種類を選び、右ダイヤルを押す。

右ダイヤルを回すごとに、次の項目が選ばれます。

項目	説明
ABC	アルファベット（大文字）を入力する。
abc	アルファベット（小文字）を入力する。
1234	数字を入力する。
!?#	記号を入力する。
かな	ひらがなを入力する。
カナ	カタカナを入力する。
（OK）	入力文字を決定する。
（⬅）	カーソルを左へ移動する。
（➡）	カーソルを右へ移動する。
（CLR）	文字を1文字削除する。
（NG）	文字入力を解除する。
（⬆）	文字メニューに戻る。

❷ 「ABC」、「abc」、「1234」、「!?#」を選んだ場合

右ダイヤルを回して希望の文字を選び、右ダイヤルを押す。
候補の文字列が表示されます。

「かな」「カナ」を選んだ場合

1 右ダイヤルを回して文字列の最初の文字を選び、右ダイヤルを押す。

2 右ダイヤルを回して任意の文字を選び、右ダイヤルを押す。
候補の文字列が表示されます。

文字の種類を変えたい場合は、「⬆」を選び、右ダイヤルを押す。

DSPLボタンを押すごとに、アルファベットの候補が以下のように換わります。

全て大文字 → 1文字目だけ大文字 → 全て小文字

❸ 左ダイヤルを回して任意の文字列を選び、左ダイヤルを押す。

入力された文字が確定します。

次のページへつづく

ラジオ

連文節変換を行うには
ある程度文字を入力して、F3（ヘンカン）ボタンを押します。

❹ 手順❶～❸を繰り返し、文字を入力する。

カーソルを左右に移動するには
右ダイヤルを回して「⬅」または「➡」を選び、右ダイヤルを押す。

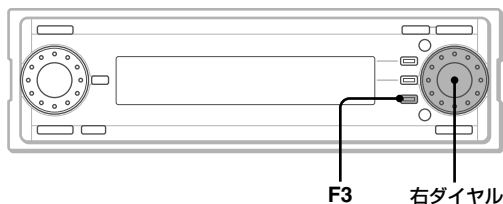
文字を削除するには
右ダイヤルを回して「CLR」を選び、右ダイヤルを押す。

6 **右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。**

通常の画面が表示されます。

途中でやめるには
手順6で、右ダイヤルを回して「NG」を選び、右ダイヤルを押す。

放送局を名前で探す
（リスト）

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、46ページをご覧ください。

ちょっと一言

現在受信中の放送局名の左側には「▶」が表示されます。

1　ラジオ受信中に右ダイヤルを押す。

プリセット局のリストが表示されます。

2　右ダイヤルを回して希望の放送局を選び、右ダイヤルを押す。

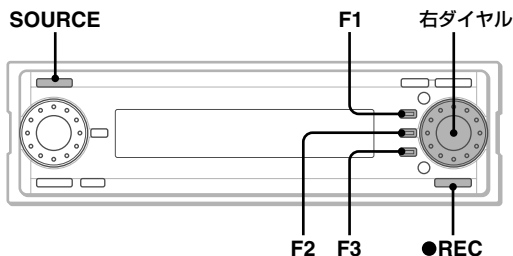
通常の受信画面が表示されます。

リスト画面を解除するには

F3（◢ıı）ボタンを押します。

ラジオ

アルバム/曲を録音する

CDからお好みの曲だけを選んでHDDに録音することができます。

ビットレートを選ぶ
手順2で、F1ボタンを押し、132K ←→ 105Kを切り換えます。「132K」を選ぶと、音質が上がりますがデータ量は大きくなります。

録音速度を選ぶ
手順2で、F2ボタンを押し、HI-REC ←→ ×1-RECを切り換えます。
「HI-REC」を選ぶと、最大8倍の速度で録音します。
「1-REC」はCDを再生しながら通常の速度で録音します。

ちょっと一言
本機にはGracenote CDDB® Music Recognition Service℠（CD データベース）が内蔵されています。音楽CDを再生するとGracenote CDDB® Music Recognition Service℠にアクセスし、タイトル情報（アルバム名、曲名、アーティスト名）を表示します。CDをはじめて再生する時のみGracenote CDDB® Music Recognition Service℠にアクセスし、アクセス中に「Accessing Gracenote CDDB」と表示します。Gracenote CDDB®にアルバム情報がない場合は「No Match」と表示します。その場合、Gracenote CDDB®をアップデートすることができます。（95ページ）

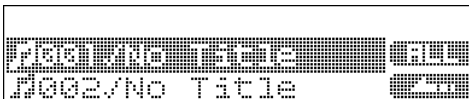
1 SOURCEボタンを押し「CD」を選ぶ。

2 ● RECボタンを押す。

録音設定画面になります。

ビットレートを切り換えるには：F1ボタンを押す。
録音速度を切り換えるには：F2ボタンを押す。

3 右ダイヤルを回して録音元のソース情報を選び、右ダイヤルを押す。

選択画面が表示されます。

4 右ダイヤルを回して録音したい曲を選び、右ダイヤルを押す。

録音される項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには
右ダイヤルをもう一度押す。

ちょっと一言

- 初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、手順4でF2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。
- 録音中に、SOURCEボタンを押すたびに、FM→AM→AUX→CD→FMと切り換わります。「CD」を選択した場合は、録音中の曲を再生します。
- 録音画面に表示される時間表示は厳密ではありません。

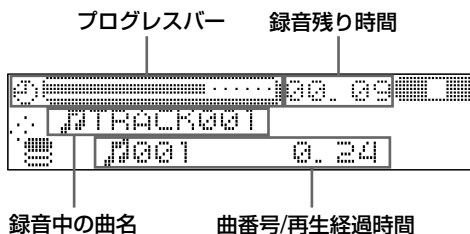
ご注意

- 曲の途中で録音を止めた時は、止めた前の曲まで録音されます。録音途中の曲は録音されません。
- Rec Continueの初期設定は「On」です。（89ページ）
- 1つのフォルダーに録音できるアルバム数は最大で200枚、HDD全体で2000枚です。
- HDDに録音できる曲数は最大6000曲です。
- 1つのアルバムに録音できる曲数は最大で400曲です。

5 **手順4を繰り返して、録音を希望する曲を全て選ぶ。**

6 **F3（◢ıı）ボタンを押す。**

録音設定画面に戻ります。

7 **● RECボタンを押す。**

録音が始まります。全曲の録音が終わると自動的にCDを再生します。

録音を途中で止めるには

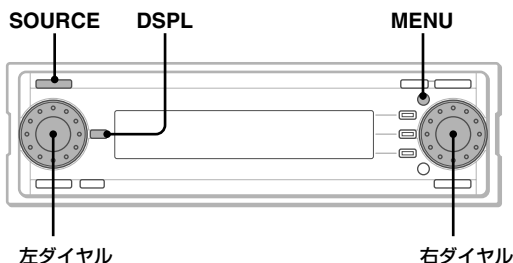
手順7でF1（■）ボタンを押す。

録音先のフォルダー/アルバムを変えるには

❶ 手順2で、右ダイヤルを回して録音先のフォルダー/アルバムを選び、右ダイヤルを押す。

❷ 右ダイヤルを回して希望のフォルダー/アルバムを選び、右ダイヤルを押す。

名前をつける
（文字編集）

本機のGracenote CDDB®（CDデータベース）にアルバム情報がない場合、アルバム、曲やアーティストに名前をつけて、検索性の高い音楽ライブラリーを作ることができます。

ご注意

- インポートアルバムおよびムーブイン、インポートした曲は文字編集できません。

ちょっと一言

- 全角文字（ひらがな、カタカナ、漢字）または半角文字（英数字）により入力できる文字数は以下のようになります。
  フォルダー名：
  半角 31文字/全角15文字
  アルバム名：
  半角 511文字/全角 255文字
  トラック名：
  半角 511文字/全角 255文字
  アーティスト名：
  半角 255文字/全角 127文字
- ファンクションキーでも「OK」、「⬅」、「➡」、「CLR」、「NG」を選択することができます。
- 手順5の❷-1で「かな」を選んだ場合、右ダイヤルを回すごとに、⬆ ↔ あ ↔ か ↔ さ ↔ た ↔ な……⬆と切り換わります。
- 手順5の❷-2で、右ダイヤルを回すごとに、⬆ ↔ あ ↔ い ↔ う ↔ え ↔ お ↔ ぁ ↔ ぃ ↔ ぅ ↔ ぇ ↔ ぉ ↔ ⬆ と切り換わります。

1 SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

3 右ダイヤルを回して「Name In」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して希望の項目を選び、右ダイヤルを押す。

項目	説明
Track	曲に名前をつける。
Track Artist	曲にアーティスト名をつける。
Album	アルバムに名前をつける。
Album Artist	アルバムにアーティスト名をつける。
Folder	フォルダーに名前をつける。

ちょっと一言

記号が選ばれている場合、
⇧ ↔（スペース）↔ ! ↔ ” ↔ # ↔ $ ↔ % ↔ & ↔ ’ ↔ (↔) ↔ * ↔ + ↔ 、 ↔ ー ↔ . ↔ / ↔ : ↔ ; ↔ < ↔ = ↔ > ↔ ? ↔ @ ↔ [↔ ＼ ↔] ↔ ^ ↔ _ ↔ ` ↔ { ↔ | ↔ } ↔ ~ ↔ ⇧
と切り換わります。
「きごう」または「かお」と入力すると、以下の記号や顔文字に変換することができます。

「きごう」を変換した場合

、 。 ・ ： ； ？ ！ ゝ 〃 仝 々 〆 〜 … ( ) 〔 〕 [ ] { } 〈 〉 《 》 「 」 『 』 【 】 × ∞ ♂ ♀ ℃ ￥ ＄ ￡ ＆ ＊ ＠ ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ → ← ↑ ↓ ＃ ♪ Ω

「かお」を変換した場合

(＊_＊) (+_+) (－.－) (－_－) (－_－;) (..) (._.) (;_;) (>_<) (@_@) (T_T) (^.^) (^0_0^) (^0^) (^^) (^_－) (^_^) (^_^;) (^o^) (__))^o^(>^_^< ^/^ ^^; ^_^; _(._.)_ m(__)m

5 名前を入力する。

❶ 右ダイヤルを回して入力する文字の種類を選び、右ダイヤルを押す。

右ダイヤルを回すごとに、次の項目が選ばれます。

項目	説明
ABC	アルファベット（大文字）を入力する。
abc	アルファベット（小文字）を入力する。
1234	数字を入力する。
!?#	記号を入力する。
かな	ひらがなを入力する。
カナ	カタカナを入力する。
(OK)	入力文字を決定する。
(⬅)	カーソルを左へ移動する。
(➡)	カーソルを右へ移動する。
(CLR)	文字を1文字削除する。
(NG)	文字入力を解除する。
(⇧)	文字メニューに戻る。

❷ 「ABC」、「abc」、「1234」、「!?#」を選んだ場合

右ダイヤルを回して希望の文字を選び、右ダイヤルを押す。
候補の文字列が表示されます。

「かな」、「カナ」を選んだ場合

1 右ダイヤルを回して文字列の最初の文字を選び、右ダイヤルを押す。
2 右ダイヤルを回して任意の文字を選び、右ダイヤルを押す。
候補の文字列が表示されます。

文字の種類を変えたい場合は、「⇧」を選び、右ダイヤルを押す。

DSPLボタンを押すごとに、アルファベットの候補が以下のように換わります。

全て大文字 → 1文字目だけ大文字 → 全て小文字

次のページへつづく

名前をつける（つづき）

連文節変換を行うには

ある程度文字を入力して、F3（ヘンカン）ボタンを押します。

❸ 左ダイヤルを回して任意の文字列を選び、左ダイヤルを押す。
入力された文字が確定します。

❹ 手順❶～❸を繰り返し、文字を入力する。

カーソルを左右に移動するには

右ダイヤルを回して「⬅」または「➡」を選び、右ダイヤルを押す。

文字を削除するには

右ダイヤルを回して「CLR」を選び、右ダイヤルを押す。

6 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

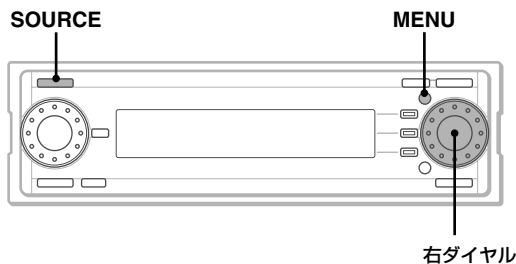
通常の再生画面になります。

途中でやめるには

手順6で、右ダイヤルを回して「NG」を選び、右ダイヤルを押す。

フォルダー/アルバムを作る

HDD内に新しいフォルダー/アルバムを作成し、検索性の高い音楽ライブラリーを作ることができます。

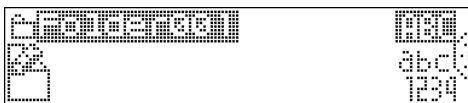
ご注意

- HDD内に作ることのできるフォルダー数は最大で99個です（Play Listフォルダーを含む）。
- 1つのフォルダーに入れられるアルバム数は最大で200枚です。
- 1つのアルバムに入れられる曲数は最大400枚です。

1 SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Contents Edit」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「🗀 Create」（フォルダー作成）または「⊙ Create」（アルバム作成）を選び、右ダイヤルを押す。

文字編集画面が表示されます。

5 名前を入力する。

文字入力に関して詳しくは「名前をつける」（52ページ）の手順5をご覧ください。

6 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

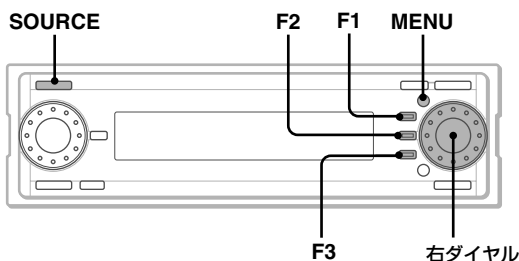
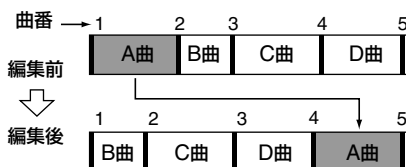
通常の再生画面が表示されます。

途中で作成をやめるには

手順6で、右ダイヤルを回して「NG」を選び、右ダイヤルを押す。

HDDを編集する

フォルダー/アルバム/曲を移動する
（ムーブ機能）

フォルダー/アルバム/曲を好きな位置に移動して、順番を変えることができます。移動後の項目には、自動的に連続した曲番が付きます。

例）1曲目を4曲目に移動する

1 SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 右ダイヤルを繰り返し押し、移動を希望する項目のリストを選ぶ。

3 右ダイヤルを回して希望の項目を選び、MENUボタンを押す。

4 右ダイヤルを回して「Move」を選び、右ダイヤルを押す。

ちょっと一言

右ダイヤルを押すごとにアルバム名リスト→曲名リスト→通常再生画面へと切り換わります。
フォルダー名リストを表示するには、アルバム名リストが表示された後、F1（⮌）ボタンを押します。

5 移動先を選ぶ。

❶ 右ダイヤルを押して移動先（フォルダー/アルバム/曲）リストを選ぶ。
一階層上がる場合は、F1ボタンを押す。

❷ 右ダイヤルを回して挿入位置を選ぶ。

❸ F2（ENTER）ボタンを押す。

6 F3（◢▪▪）ボタンを押す。

通常の画面になります。

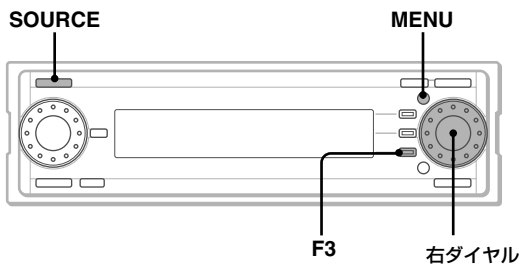
途中で変更をやめるには

MENUボタンを押す。

ご注意

- 複数のアルバムから曲を選ぶことはできません。
- Play Listフォルダー内にある曲は、それ以外のフォルダーへ移動できません。また、それ以外のフォルダーにあるアルバムや曲はPlay Listフォルダーへ移動できません。
- 移動中は再生が自動的に停止します。
- 1つのフォルダーに入れられるアルバム数は最大で200枚です。
- 1つのアルバムに入れられる曲数は最大で400曲です。

フォルダー/アルバム/曲を消去する
（イレース機能）

よく聞く曲や、消したくない大切な曲だけを残すことにより、本機のHDDを有効に活用することができます。

ちょっと一言

右ダイヤルを押すごとにアルバム名リスト → 曲名リスト → 通常再生画面へと切り換わります。
フォルダー名リストを表示するには、アルバム名リストが表示された後、F1（⮤）ボタンを押します。

ご注意

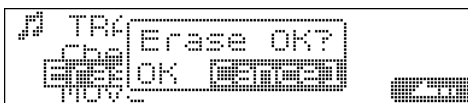
- 消去された曲は一度Rcycle BinフォルダーのLatest 400アルバムに移動します。消去されたアルバムは一度Rcycle Binフォルダーに移動します。
- Rcycle Binフォルダーの曲またはアルバムを元に戻す場合は、ムーブ機能（56ページ）で移動してください。1曲またはアルバム1枚ごとでしか移動できません。
- Rcycle Binフォルダーの曲またはアルバムを消去すると完全に消去されます。消去する前にもう一度確認してください。
- Rcycle BinフォルダーのLatest 400アルバムには、400曲まで入ります。400曲を超えると古い曲から順に消去されます。
- Rcycle Binフォルダーには200枚までアルバムが入ります（Latest 400アルバムを含む）。200枚を超えると古い曲から順に消去されます（Latest 400アルバムを含まず）。

1 SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 右ダイヤルを繰り返し押し、消去を希望する項目のリストを選ぶ。

3 右ダイヤルを回して消去したい項目を選び、MENUボタンを押す。

4 右ダイヤルを回して「Erase」を選び、右ダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

5 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

選択した項目が消去されます。

6 F3（◢ııı）ボタンを押す。

通常の画面になります。

途中で消去をやめるには

手順5で「CANCEL」を選び、右ダイヤルを押す。

ご注意

HDD内のカスタムフォルダーが全て消去された場合、SOURCEボタンを繰り返し押しても、ソース（「HDD」）を選択することができません。この場合HDD内に新しいフォルダーを作成し、CDを録音してください。

HDD内に新しいフォルダーを作成する

1 **右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。**

2 **右ダイヤルを回して「HDD」を選び、MENUボタンを押す。**

3 **右ダイヤルを回して「🗀 Create」を選び、右ダイヤルを押す。**

4 **名前を入力する。**

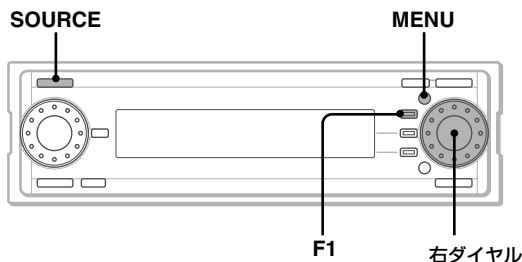
詳しくは「名前をつける」（52ページ）の手順5をご覧ください。

5 **右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。**

HDDを編集する

HDDから音楽データを転送する

（チェックアウト）

本機のHDDに録音した音楽データを“MGメモリースティック”に転送（チェックアウト）することができます。

ご注意

- お使いになるときは、メモリースティックの誤消去防止スイッチ（108ページ）の「LOCK」を解除してください。
- LEDが点灯または点滅しているときは“MGメモリースティック”を抜かないでください。データが破損します。
- 次の曲は再生できません。
  — 再生回数制限のある曲
  — 再生時限の過ぎた曲

ちょっと一言

- 本機で再生できるビットレートは以下の通りです。
  ステレオ：
  176Kbps、146Kbps、132Kbps、105Kbps、94Kbps、66Kbps
  モノラル：
  47Kbps、33Kbps
- 初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

1 “MGメモリースティック”をセットし、SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Check Out」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Check Out」を選び、右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回してチェックアウトする曲を選び、右ダイヤルを押す。

チェックアウトされる項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには
右ダイヤルをもう一度押す。

6 手順5を繰り返してチェックアウトする曲を選ぶ。

7 F1（START）ボタンを押す。

チェックアウトを開始します。チェックアウトが終了すると通常の画面になります。

チェックアウトを解除するには
チェックアウト中に、F1（CANCEL）ボタンを押す。

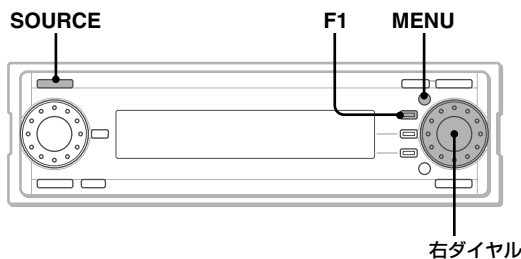
ご注意

- CDから録音した曲は3回までチェックアウトが可能です。
- チェックアウトの回数は♫（3回以上）、♫（2回）、♪（1回）、表示無し（0回）で表示されます。
- “メモリースティック”の容量あるいは最大収容曲数（400 曲）を超えてチェックアウトすることはできません。
- 手順5で表示されるリストには、チェックアウト可能な曲のみ表示されます。
- 次の曲はチェックアウトできません。
  —チェックアウトの残り回数が「0」の曲
  —再生時限の過ぎた曲

ちょっと一言

- 本機は、“メモリースティック”内のデータを保護するため、チェックイン、チェックアウトなどのデータ書き込み中には自動的にフロントパネルが閉じます。
- “メモリースティック”には最大で400曲をチェックアウトできます。
- 1つの“メモリースティック”に同じ曲を複数回チェックアウトできます。

HDDに音楽データを戻す
（チェックイン）

“メモリースティック”に転送（チェックアウト）された音楽データを本機のHDDに戻します（チェックイン）。

ご注意

手順5で表示されるリストには、チェックイン可能な曲のみ表示されます。

ちょっと一言

初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

1 **“MGメモリースティック”をセットし、SOURCEボタンを押して「MEMORY STICK」を選ぶ。**

2 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

3 **右ダイヤルを回して「Check In」を選び、右ダイヤルを押す。**

4 **右ダイヤルを回して「Check In」を選び、右ダイヤルを押す。**

5 **右ダイヤルを回してチェックインする曲を選び右ダイヤルを押す。**

チェックインされる項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには

右ダイヤルをもう一度押す。

6 **手順5を繰り返してチェックインする曲を選ぶ。**

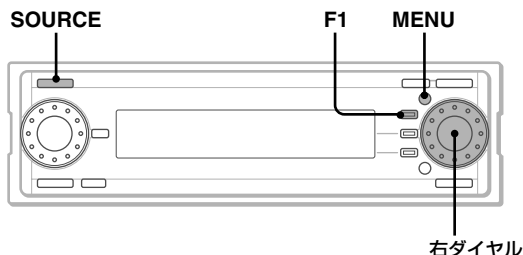
7 **F1（START）ボタンを押す。**

チェックインを開始します。チェックインが終了すると通常の画面になります。

チェックインを解除するには

チェックイン中に、F1（CANCEL）ボタンを押す。

HDDから音楽データを移動する
（ムーブアウト）

本機のHDDにある移動可能な音楽データを“MGメモリースティック”に取り込むことができます。ムーブアウトでは音楽データに関する全ての情報が移動先に移り、移動元には残りません。

ご注意

- “メモリースティック”の容量あるいは最大収容曲数（400曲）を超えてムーブアウトすることはできません。
- リストには、ムーブアウト可能な曲のみ表示されます。

ちょっと一言

初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

1 “MGメモリースティック”をセットし、SOURCEボタンを押して「HDD」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Check Out」を選び右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Move Out」を選び右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回してムーブアウトする曲を選び右ダイヤルを押す。

ムーブアウトされる項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには
右ダイヤルをもう一度押す。

6 手順5を繰り返してムーブアウトする曲を選ぶ。

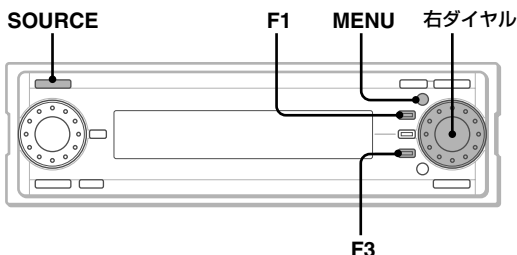
7 F1（START）ボタンを押す。

ムーブアウトを開始します。ムーブアウトが終了すると通常の画面になります。

ムーブアウトを解除するには

ムーブアウト中に、F3（CANCEL）ボタンを押す。

HDDへ音楽データを戻す
（ムーブイン）

“MGメモリースティック”にある移動可能な音楽データを本機のHDDに取り込みます。

1 “MGメモリースティク”をセットし、SOURCEボタンを押して「MEMORY STICK」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Check In」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Move In」を選び、右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回してムーブインする曲を選び、右ダイヤルを押す。

ムーブインされる項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには
右ダイヤルをもう一度押す。

6 手順5を繰り返してムーブインする曲を選ぶ。

7 F1（START）ボタンを押す。

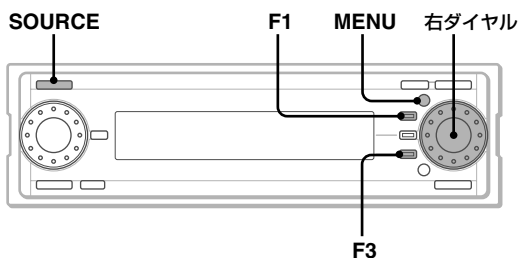
ムーブインを開始します。ムーブインが終了すると通常の画面になります。

ちょっと一言
初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

ムーブインを解除するには
ムーブイン中に、F3（CANCEL）ボタンを押す。

HDDに音楽データを取り込む

（インポート）

“MGメモリースティック”から本機のHDDにデータを取り込むことができます。

ご注意

- インポートした曲はチェックアウト以外の方法で“MGメモリースティック”やネットワークウォークマンに取り出すことはできません。
- リストにはインポート可能な曲のみ表示されます。

ちょっと一言

初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

1 “MGメモリースティック”をセットし、SOURCEボタンを押して「MEMORY STICK」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Check In」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Import」を選び、右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回してインポートする曲を選ぶ。

インポートされる項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには

右ダイヤルをもう一度押す。

6 手順5を繰り返してインポートする曲を選ぶ。

7 F1（START）ボタンを押す。

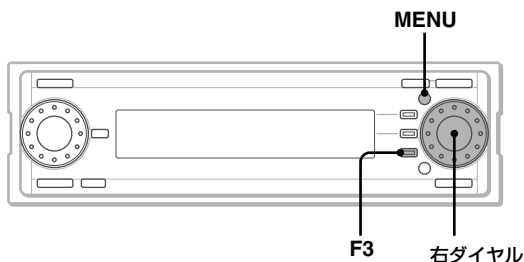
インポートを開始します。インポートが終了すると通常の画面になります。

インポートを解除するには

インポート中に、F3（CANCEL）ボタンを押す。

データをHDDに一時保管する

（バックアップ）

“メモリースティック” 内のデジタルカメラの画像データやICレコーダーの音声データを一括してHDDに一時保管することができます。

ご注意

- バックアップしたデータを本機で再生することは出来ません。
- “MGメモリースティック” 内のHIFIフォルダー、CONTROLフォルダーはバックアップできません。

1 右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。

2 右ダイヤルを回して「Memory Stick」を選び、右ダイヤルを押す。

3 右ダイヤルを押して、バックアップするフォルダーまたはファイルを選び、MENUボタンを押す。

4 右ダイヤルを回して「Backup」を選び、右ダイヤルを押す。

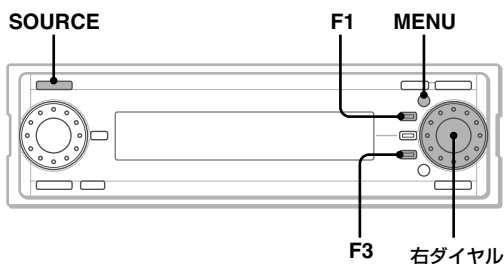
バックアップを開始します。バックアップが終了するとリスト表示画面になります。
バックアップしたデータは、DATAフォルダーに保存されます。

5 F3（◢▮▮）ボタンを押す。

通常の再生画面になります。

バックアップを解除するには

バックアップ中に、F3（CANCEL）ボタンを押す。

一時保管したデータを“メモリーティック”に戻す

（リストア）

ご注意

- すでに“メモリースティック”内に同じ種類のデータがあるときは、リストアすることはできません。
- “メモリースティック”の再生中は、リストアすることはできません。
- 8文字以上の名前のフォルダーまたはファイルをバックアップし、リストアすると8文字に変換されます。

1 右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。

2 右ダイヤルを回して「HDD」を選び、右ダイヤルを押す。

3 右ダイヤルを回して「DATA」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回してバックアップしたフォルダーまたはファイルを選び、右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回してバックアップした日付のデータを選び、MENUボタンを押す。

6 右ダイヤルを回して「Restore」を選び、右ダイヤルを押す。

リストアを開始します。リストアが終了すると通常の画面になります。

7 F3（◢ııı）ボタンを押す。

通常の再生画面になります。

リストアを消去するには

リストア中に、F3（CANCEL）ボタンを押す。

MGメモリースティック

次のページへつづく

HDDに一時保管したデータを消去する

1 SOURCEボタンを押して「HDD」を選ぶ。

2 右ダイヤルを押し、F1（⮠）ボタンを押してフォルダーリストを表示する。

3 右ダイヤルを回してDATAフォルダーを選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回してバックアップした日付のデータを選び、MENUボタンを押す。

5 右ダイヤルを回して「Erase」を選び右ダイヤルを押す。

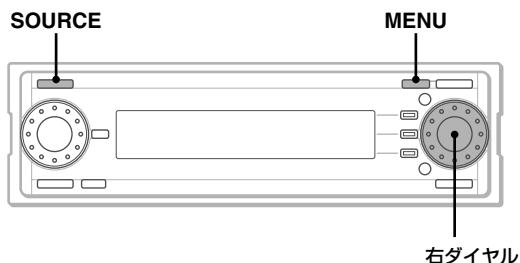
確認画面が表示されます。

6 右ダイヤルを回して「OK」を選び右ダイヤルを押す。

途中で消去をやめるには

手順6で「Cancel」を選び、右ダイヤルを押す。

“MGメモリースティック” 内のアルバムに名前をつける

“MGメモリースティック” 内のアルバムに名前をつけて検索性の高いライブラリーを作ることができます。

ちょっと一言

- ひらがな（カタカナ、漢字）で最大255文字（英数字で最大511文字）までの名前を付けることができます。
- HDD内のアルバムを“MGメモリースティック”にチェックアウトした場合、アルバム名が上書きされます。

ご注意

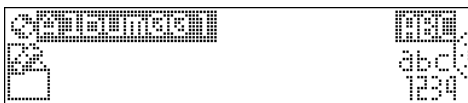
“メモリースティック”に曲が入っていないときは、アルバム名をつけることができない場合があります。

1 SOURCEボタンを押し「MEMORY STICK」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Name In」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Album」を選び、右ダイヤル押す。

5 名前を入力する。

文字入力に関して詳しくは「名前をつける」（52ページ）の手順5をご覧ください。

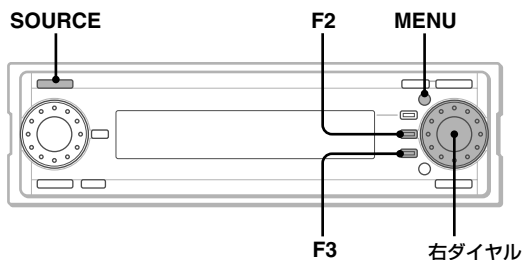
6 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

途中でやめるには

手順6で、右ダイヤルを回して「NG」を選び、右ダイヤルを押す。

曲の順番を変える

（ムーブ機能）

“MGメモリースティック”内にある曲の再生順を変えることができます。

ご注意

MP3ファイルの移動はできません。

1 SOURCEボタンを押し「MEMORY STICK」を選ぶ。

2 右ダイヤルを繰り返し押して、曲名リストを表示する。

3 右ダイヤルを回して移動したい曲を選び、MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

4 右ダイヤルを回して「Move」を選び、右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回して移動先を選び、F2（ENTER）ボタンを押す。

6 F3（◢ıı）ボタンを押す。

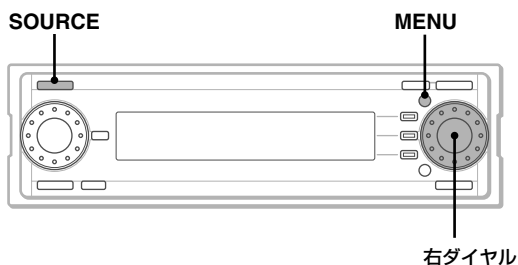
通常の再生画面になります。

途中で変更をやめるには

手順5でF3（CANCEL）ボタンを押す。

曲を消去する
（イレース機能）

よく聞く曲や、消したくない大切な曲だけを残すことで、“MGメモリースティック”を有効に活用することができます。

ご注意

一度消去すると元に戻せません。消去する前にもう一度確認してください。

1 SOURCEボタンを押し「MEMORY STICK」を選ぶ。

2 右ダイヤルを繰り返し押して、曲名リストを表示する。

3 右ダイヤルを回して消去したい曲を選び、MENUボタンを押す。

4 右ダイヤルを回して「Erase」を選び、右ダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

5 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

選択した項目が消去されます。

6 MENUボタンを押す。

通常の再生画面になります。

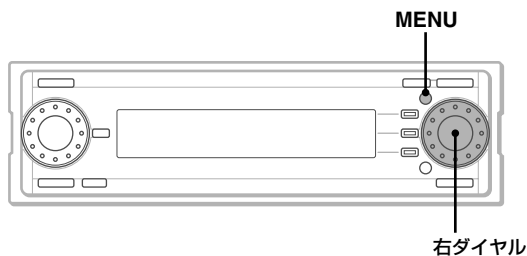
途中で消去をやめるには

手順5で「Cancel」を選び、右ダイヤルを押す。

初期化する
（フォーマット機能）

フォーマット形式の違う“MGメモリースティック”や異常のある“MGメモリースティック”を初期化し、使用可能な状態にします。

ご注意

- 初期化（フォーマット）をすると、“MGメモリースティック”に記録されたデータは全て消去されます。初期化する前にデータの内容を確認しておいてください。
- フォーマット中は“MGメモリースティック”を抜かないでください。

1 **右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。**

2 **右ダイヤルを回して「Memory Stick」を選び、MENUボタンを押す。**

3 **右ダイヤルを回して「Format」を選び、右ダイヤルを押す。**

確認画面が表示されます。

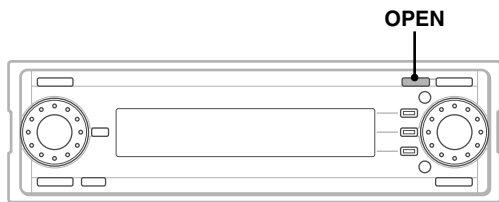
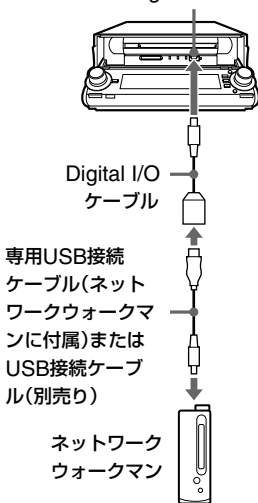
4 **右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。**

フォーマットが始まります。
フォーマット終了後通常の再生画面になります。

初期化をやめるには

手順4で「Cancel」を選ぶ。

ネットワークウォークマンをつなぐ

ネットワークウォークマンに曲を転送することで、音楽を携帯して楽しむことができます。

接続は付属のDigital I/Oケーブルと専用USB接続ケーブルを使って行います。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

- しっかりと接続してください。
- ネットワークウォークマンが接続されている場合、⏏ボタンを押してもビープ音がなり、ディスクトレイが開きません。

1 OPENボタンを押し、フロントパネルを開ける。

2 Digital I/OケーブルをDigital I/O端子に接続する。

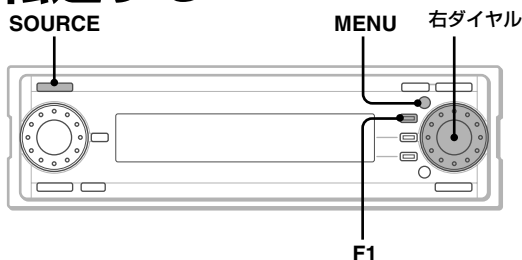
“カチッ”と音がするまで差し込む。

ご注意

- USB延長ケーブルをご使用の場合の動作の保証はいたしかねます。
- 本機では、接続したネットワークウォークマンを再生することはできません。
- 本機で使用できるネットワークウォークマンは下記の機種(別売り)です(2002/4/1現在)。
  NW-E3/E5、NW-E7、NW-E8P、NW-E10、MC-S25、MC-S50、MC-HP1、MC-P10、MC-P11W
- チェックアウト、チェックイン操作の途中で、Digital I/Oケーブルおよび専用USB接続ケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破損することがあります。

HDDからネットワークウォークマンに音楽データを転送する

（チェックアウト）

本機のHDDに録音した音楽データをネットワークウォークマンなどに転送（チェックアウト）することができます。

ご注意

- 本機とネットワークウォークマンがデータ交換をしている間、LEDが点灯または点滅します。データが破損しますので、この間はDigital I/Oケーブルを抜かないでください。
- 次の曲は再生できません
  — 再生回数制限のある曲
  — 再生時限の過ぎた曲

ちょっと一言

初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

1 SOURCEボタンを押し「HDD」を選ぶ。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Check Out」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「Check Out」を選び、右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回してチェックアウトする曲を選び右ダイヤルを押す。

チェックアウトされる項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには
右ダイヤルをもう一度押す。

6 手順5を繰り返してチェックアウトする曲を選ぶ。

7 F1（START）ボタンを押す。

チェックアウトを開始します。チェックアウトが終了すると通常の画面になります。

途中でチェックアウトを解除するには

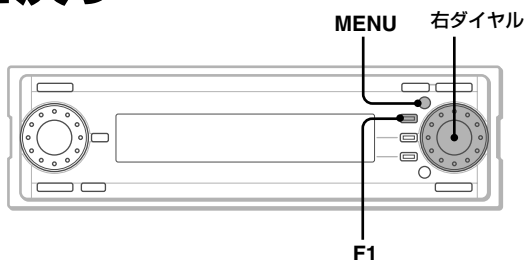
F1（CANCEL）ボタンを押す。

ご注意

- CDから録音した曲は3回までチェックアウトが可能です。
- チェックアウトの回数は♫♫（3回以上）、♫（2回）、♪（1回）、表示無し（0回）で表示されます。
- ネットワークウォークマンの容量あるいは最大収容曲数（99 曲）を超えてチェックアウトすることはできません。
- 手順5で表示されるリストには、チェックアウト可能な曲のみ表示されます。
- 次の曲はチェックアウトできません。
  —チェックアウトの残り回数が「0」の曲
  —再生時限の過ぎた曲
  —本機の時計が設定されていない状態に限り、再生時限のある曲

ネットワークウォークマンからHDDに音楽データを戻す
（チェックイン）

ネットワークウォークマンに転送（チェックアウト）された音楽データを本機のHDDに戻します（チェックイン）。

ご注意

手順5で表示されるリストには、チェックイン可能な曲のみ表示されます。本機以外の機器でチェックアウトした曲はチェックインできません。

ちょっと一言

初期設定では全ての項目が選択されています。特定の曲を選ぶ場合、F2（ALL）ボタンを押して、選び直してください。

1 **右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。**

2 **右ダイヤルを回して「Digital I/O」を選び、右ダイヤルを押す。**

3 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

4 **右ダイヤルを回して「Check In」を選び、右ダイヤルを押す。**

5 **右ダイヤルを回してチェックインする曲を選び、右ダイヤルを押す。**

チェックインされる項目に「✓」が表示されます。

選択項目を解除するには

右ダイヤルをもう一度押す。

6 **手順5を繰り返してチェックインする曲を選ぶ。**

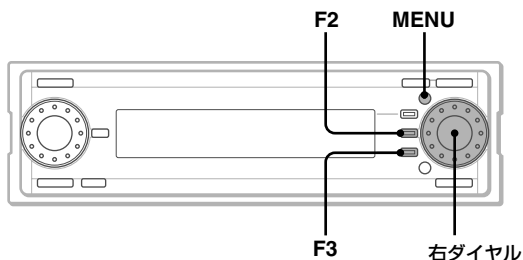
7 **F1（START）ボタンを押す。**

チェックインを開始します。チェックインが終了すると通常の再生画面になります。

途中でチェックインを解除するには

F1（CANCEL）ボタンを押す。

曲の順番を変える
（ムーブ機能）

ネットワークウォークマン内にある曲の再生順を変えることができます。

ご注意

NW-E3/E5, NW-E8P, NW-E7/E10でのみ曲順を変えることができます。

1 右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。

2 右ダイヤルを回して「Digital I/O」を選び、右ダイヤルを押す。

3 右ダイヤルを押して、曲名リストを表示する。

4 右ダイヤルを回して移動したい曲を選び、MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

5 右ダイヤルを回して「Move」を選び、右ダイヤルを押す。

6 右ダイヤルを押して移動先を選び、F2（ENTER）ボタンを押す。

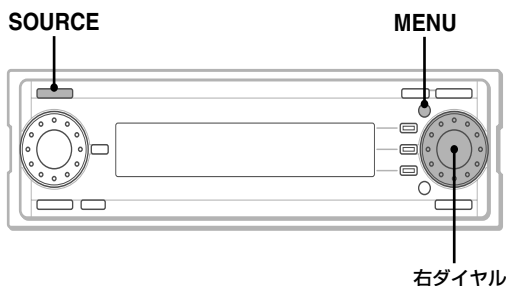
7 F3（◢ıı）ボタンを押す。

通常の再生画面になります。

途中で変更をやめるには

F3（◢ıı）ボタンを押す。

曲を消去する
（イレース機能）

よく聞く曲や、消したくない大切な曲だけを残すことで、ネットワークウォークマンを有効に活用することができます。

ご注意

一度消去すると元に戻せません。消去する前にもう一度確認してください。

1 **右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。**

2 **右ダイヤルを回して「Digital I/O」を選び、右ダイヤルを押す。**

3 **右ダイヤルを押して、曲名リストを表示する。**

4 **右ダイヤルを回して消去したい曲を選び、MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

5 **右ダイヤルを回して「Erase」を選び、右ダイヤルを押す。**

確認画面が表示されます。

6 **右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。**

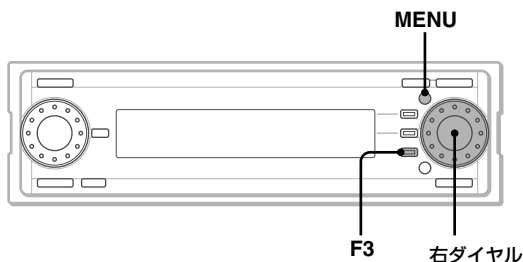
7 **F3（◢ıı）ボタンを押す。**

通常の画面が表示されます。

途中で消去をやめるには

手順6で「Cancel」を選び、右ダイヤルを押す。

初期化する
（フォーマット）

フォーマット形式の違うネットワークウォークマンや、異常のあるネットワークウォークマンを初期化し、使用可能な状態にします。

ご注意

NW-E3/E5、NW-E8P、MC-S25/S50、NW-E7/E10でのみ初期化できます。

1 右ダイヤルを押して、ソースリストを表示する。

2 右ダイヤルを回して「Digital I/O」を選び、MENUボタンを押す。

3 右ダイヤルを回して「Format」を選び右ダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

4 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

フォーマットが始まります。

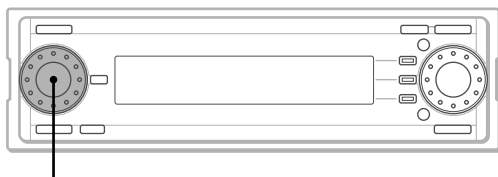
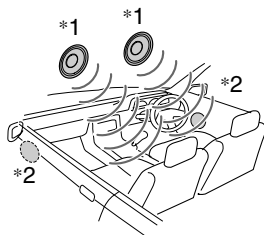
5 F3（）ボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

初期化をやめるには

手順4で「Cancel」を選ぶ。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー（バーチャルスピーカー）があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

バーチャルスピーカーのイメージ

*1 DSO on
*2 DSO off（実際のスピーカー（フロントドア下））

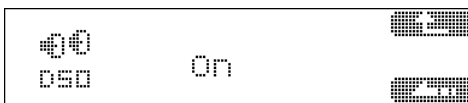
ちょっと一言

- 手順3で左ダイヤルを回すごとに
  DSO ↔ EQ7 ↔ BAS ↔ TRE ↔ BAL ↔ FAD ↔ SUB ↔ LOUD ↔ DSO
  と切り換わります。
- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「Off」にすると聞きやすくなります。

1 設定するソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。

2 左ダイヤルを押す。

サウンド設定画面になります。

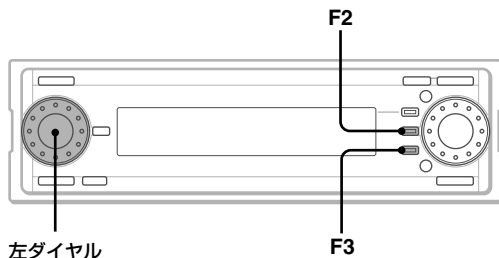
3 左ダイヤルを回して「DSO」を選び、左ダイヤルを押す。

4 左ダイヤルを回して「On」を選び、左ダイヤルを押す。

通常の画面が表示されます。

DSOを解除するには

手順4で「Off」を選びます。

イコライザーを使う
(EQ7)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。

ご注意

DSO設定中は、DSOの効果を最適化にするためイコライザーの効果を抑えてあります。

ちょっと一言

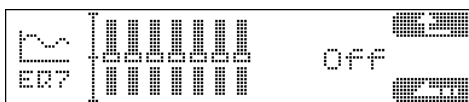
- 手順3で左ダイヤルを回すごとに
  DSO ↔ EQ7 ↔ BAS ↔ TRE ↔ BAL ↔ FAD ↔ SUB ↔ LOUD ↔ DSO
  と切り換わります。
- 手順4で左ダイヤルを回すごとに
  Off ↔ Xplod ↔ Vocal ↔ Club ↔ Jazz ↔ NewAge ↔ Rock ↔ Custom ↔ Off
  と切り換わります。

イコライザーカーブを選ぶ

1 **設定するソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。**

2 **左ダイヤルを押す。**

サウンド設定画面になります。

3 **左ダイヤルを回して「EQ7」を選び、左ダイヤルを押す。**

4 **左ダイヤルを回して、希望のイコライザーカーブを選び、左ダイヤルを押す。**

通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには

手順4で「Off」を選びます。

サウンドの設定

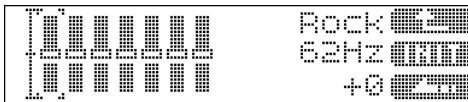
次のページへつづく

好きなイコライザーカーブを調整する

1 設定するソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。

2 左ダイヤルを押す。

3 左ダイヤルを回して「EQ7」を選び、左ダイヤルを押す。

4 左ダイヤルを回して希望のイコライザーカーブを選び、F2（TUNE）ボタンを押す。

5 左ダイヤルを繰り返し押して周波数を選択し、左ダイヤルを回してレベルを調整する。

6 手順5を繰り返しそれぞれの周波数を調整する。

7 F3（◢▮▮）ボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

各プリセットを初期設定（工場出荷状態）にするには

手順6でF2（INIT）ボタンを押す。

ご注意

「EQ Off」では、イコライザーカーブの調節はできません。

ちょっと一言

- 左ダイヤルを押すごとに 62Hz → 157Hz → 396Hz → 1.0kHz → 2.5kHz → 6.3kHz → 16kHz → 62Hz と切り換わります。
- レベルの調整可能範囲は±10dBです。

音のバランスや音質を設定する
（BAS/TRE/BAL/LOUD）

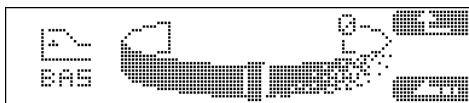
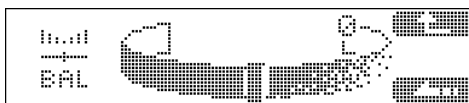
出力バランス/音質を調節する

BAL（左右のスピーカー出力のバランス）、BAS（低音）、TRE（高音）を調節することができます。

1 ソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。

2 左ダイヤルを押す。

サウンド設定画面になります。

3 左ダイヤルを回して、「BAS」、「TRE」または「BAL」を選び、左ダイヤルを押す。

バス（BAS）の設定表示

バランス（BAL）の設定表示

4 左ダイヤルを回して設定を調節し、左ダイヤルを押す。

通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- DSOが「On」に設定されている場合、またはEQ7のイコライザーカーブが選択されている場合は、BASSとLOUDの効果がわかりにくくなることがあります。
- 手順2で左ダイヤルを回すごとに
  DSO ↔ EQ7 ↔ BAS ↔ TRE ↔ BAL ↔ FAD ↔ SUB ↔ LOUD ↔ DSO
  と切り換わります。
- BASSの調整可能範囲は±10dBです。
- TREの調整可能範囲は±10dBです。
- BALの調整可能範囲はL10～L1、0、R1～R10です。

サウンドの設定

次のページへつづく

音のバランスや音質を設定する（つづき）

ちょっと一言

- 手順2で左ダイヤルを回すごとに
  DSO ↔ EQ7 ↔ BAS ↔ TRE ↔ BAL ↔ FAD ↔ SUB ↔ LOUD ↔ DSO
  と切り換わります。

ラウドネスを設定する

音のバランスを補正して、小音量でも低音と高音を聞きやすくします。

1 **再生または受信中に、左ダイヤルを押す。**

サウンド設定画面になります。

2 **左ダイヤルを回して「LOUD」を選び、左ダイヤルを押す。**

3 **左ダイヤルを回して「On」を選び、左ダイヤルを押し、左ダイヤルを押す。**

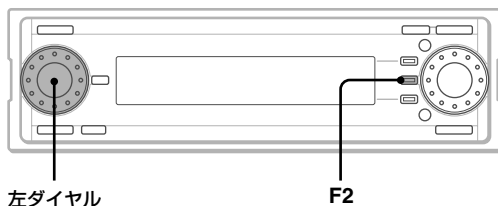
通常の画面が表示されます。

ラウドネスを解除するには

手順3で「Off」を選びます。

スピーカーの出力を設定する

（FAD）

設置されているシステムの特性に合わせて、前後スピーカーの出力レベルおよび周波数帯域を調節することができます。

ちょっと一言

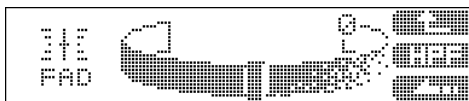
- 手順3で左ダイヤルを回すごとに
  DSO ↔ EQ7 ↔ BAS ↔ TRE ↔ BAL ↔ FAD ↔ SUB ↔ LOUD ↔ DSO
  と切り換わります。
- FADの調整可能範囲はF10～F1、0、R1～R10です。

出力レベルを調整する

1 ソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。

2 左ダイヤルを押す。

サウンド設定画面になります。

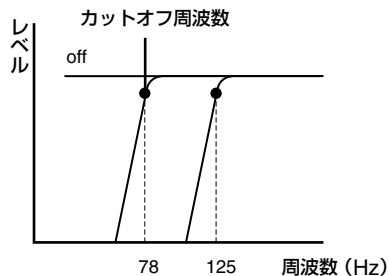
3 左ダイヤルを回して「FAD」を選び、左ダイヤルを押す。

4 左ダイヤルを回して設定を調整し、左ダイヤルを押す。

通常の画面が表示されます。

サウンドの設定

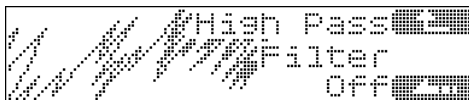
次のページへつづく

スピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

高音質スピーカーの性能を生かしきるためカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。

1 ソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。

2 左ダイヤルを押す。

3 左ダイヤルを回して「FAD」を選び、左ダイヤルを押す。

4 F2（HPF）ボタンを押す。

5 左ダイヤルを回してカットオフ周波数を選び、左ダイヤルを押す。

通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

左ダイヤルを回すごとに
Off（初期値）↔ 78Hz ↔ 125Hz
と切り換わります。

サブウーファーの出力を設定する
（SUB）

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。

ちょっと一言

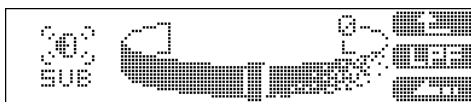
- 手順3で左ダイヤルを回すごとに
  DSO ←→ EQ7 ←→ BAS ←→ TRE ←→ BAL ←→ FAD ←→ SUB ←→ LOUD ←→ DSO
  と切り換わります。
- SUBの調整可能範囲は±10dB、−∞dbです。

出力レベルを調整する

1 ソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。

2 左ダイヤルを押す。

サウンド設定画面になります。

3 左ダイヤルを回して「SUB」を選び、左ダイヤルを押す。

4 左ダイヤルを回して、出力レベルを調整する。

5 左ダイヤルを押す。

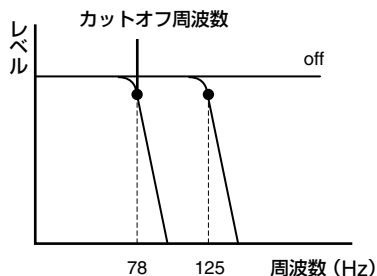
通常の画面が表示されます。

サウンドの設定

次のページへつづく

サブウーファーの出力を設定する（つづき）

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

音の指向性（方向）は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、125Hzを選ぶと、125Hz以上の音が除かれます。

1 ソース（CD、HDD、MEMORY STICK、FM、AM、AUX）を再生／受信する。

2 左ダイヤルを押す。

サウンド設定画面になります。

3 左ダイヤルを回して「SUB」を選び、左ダイヤルを押す。

4 F2（LPF）ボタンを押す

5 左ダイヤルを回してカットオフ周波数を選び、左ダイヤルを押す。

通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

左ダイヤルを回すごとに
Off（初期値）↔ 125Hz
↔ 78Hz
と切り換わります。

音や表示などの設定を換える

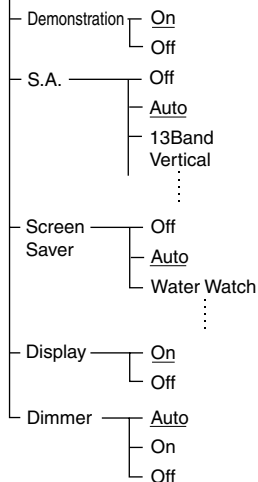
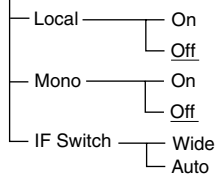
＊ 表示される項目は、選んだソースにより異なります。

Setupメニュー

設定の種類	設定内容
「Time Set」	時計の設定。（10ページ）
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をOn/Offする。
「AM Skip」	SOURCEボタンを押したときの「AM」表示の有無を設定する。 「On」→ SOURCEボタンを押しても「AM」を表示しない。 「Off」→ 常時「AM」を利用可能にする。
「AUX Skip」	SOURCEボタンを押した時の「AUX」表示の有無を設定する。 「On」→ SOURCEボタンを押しても「AUX」を表示しない。 「Off」→ 常時「AUX」を利用可能にする。
「REC Continue」	REC Continue録音のOn/Offを設定します。 「On」＊ → ACCをオフにした場合でも、録音を続け、録音完了後に自動的に本機の電源を切ります。 「Off」 → REC Continue録音を解除します。 ＊ ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けてください。
「CD Auto Play」	CDの自動再生のOn/Offを設定する。（32ページ）
「CD TEXT Copy」	CDに記録されているCD TEXT情報を録音時に記録します。 「On」→ 録音時に、CD TEXT情報を自動で記録する。 「Off」→ 録音時に、CD TEXT情報を自動的に記録しない。（CDによって記録される場合があります。）

その他の操作

次のページへつづく

音や表示などの設定を換える（つづき）

Displayメニュー

設定の種類	設定内容
「Demonstration」	デモを表示する。 「On」 → デモを表示する。 「Off」 → デモを表示しない。
「S.A.」	スペクトラムアナライザーの設定。（94ページ）
「Screen Saver」	スクリーンセーバーの表示パターンを以下より設定する。 Water Watch、Tile、Sound Wave、Aquarium、Water Surface、Snow Fall、Tunnel、Convex Lens、Fireworks、Infinity、Marbles、Space Travel 「Off」 → スクリーンセーバーを表示しない。 「Auto」 → スクリーンセーバーの表示パターンを自動的に切り換えて表示する。
「Display」	ディスプレイのOn/Offを切り換える。
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。（車の照明電源に接続されている場合のみ） 「On」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「Off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。

Receive Modeメニュー

設定の種類	設定内容
「Local」	ローカルモードのOn/Offを設定する。（42ページ）
「Mono」	モノラルモードのOn/Offを設定する。（43ページ）
「IF Switch」	IF Switchモードを設定する。（43ページ）

Preset Editメニュー

設定の種類	設定内容
「Area Call」	エリアコールの設定をする。（40ページ）
「B.T.M.」	受信状態の良い放送局を自動的にプリセットする。（41ページ）
「Manual」	放送局を手動でプリセットする。（44ページ）
「Erase」	登録された放送局を消去する。（45ページ）

Play Listメニュー

設定の種類	設定内容
「Entry」	PlayListに好きな曲を登録する。（38ページ）
「Create」	PlayListフォルダーを作成する。（38ページ）

Play Modeメニュー

設定の種類	設定内容
「Repeat」	リピートモードを切り換える 。（33ページ）
「Shuffle」	シャッフルモードを切り換える。（34ページ）

Name Inメニュー

設定の種類	設定内容
「Track」	曲に名前をつける。
「Track Artist」	曲にアーティスト名をつける。
「Album」	アルバムに名前をつける。
「Album Artist」	アルバムにアーティスト名をつける。
「Folder」	フォルダーに名前をつける。
「Station Memo」	放送局に名前をつける。（46ページ）

次のページへつづく

Check In

- Check In
- Move In
- Import

Check Inメニュー

設定の種類	設定内容
「Check In」	HDDへチェックインを行う。（62ページ）
「Move In」	HDDへムーブインを行う。（64ページ）
「Import」	HDDへインポートを行う。（65ページ）

Check Out

- Check Out
- Move Out

Check Outメニュー

設定の種類	設定内容
「Check Out」	HDDからチェックアウトを行う。（60ページ）
「Move Out」	HDDからムーブアウトを行う。（63ページ）

Contents Editメニュー

設定の種類	設定内容
「Erase」	コンテンツを消去する。
「Move」	コンテンツを移動する。
「□ Create」	フォルダーを作成する。
「⦿ Create」	アルバムまたはPlay Listアルバムを作成する。
「Format」	“MGメモリースティック”またはネットワークウォークマンを初期化する。

Informationメニュー

選択されたCD、HDD、“MGメモリースティック”の利用状況を表示します。（28ページ）

Library
- Import
- Export
- CDDB Install
- CDDB Uninstall
- Version

Libraryメニュー

設定の種類	設定内容
「Import」	編集した音楽データ（アルバム名、アーティスト名、曲名、Play List、Recycle Bin、フォルダー/アルバム構造）を本機のHDDに取り込む。（96ページ）
「Export」	本機のHDDに記録された音楽データを“MGメモリースティック”に転送する。（95ページ）
「CDDB Install」	Gracenote CDDB®を再インストールする。（98ページ）
「CDDB Uninstall」	Gracenote CDDB®を削除する。（97ページ）
「Version」	現在のGracenote CDDB®のバージョンを表示する。

Versionメニュー

使用されているソフトウェアのバージョンを表示する。

音量を瞬時に小さくする

ロータリーコマンダーのATTボタンを押す。

「ATT On」と表示され、自動的に音量が下がります。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押す。
「ATT Off」と表示され、もとの音量に戻ります。

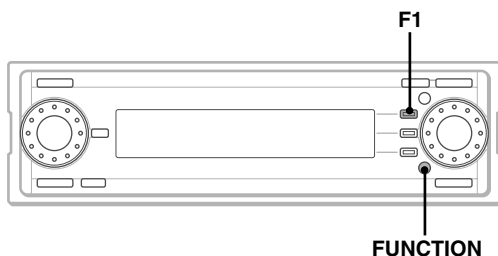
ちょっと一言
本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。（ナビATT機能）

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース（FM、AM、CD、HDD、MEMORY STICK、AUX）ごとにDSOとEQ7の設定を自動的に記憶しています（ソースサウンドメモリー）。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

その他の操作

スペクトラムアナライザーを選ぶ
(S.A.)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。
表示パターンは7種類の中から選ぶことができます。

ちょっと一言
- 手順3で、F1ボタンを押すごとに、
  Auto Mode → Mode Off → 13Band Vertical → 19Band Oblique → 3Band Horizontal → Smooth → Wave → Desert → Heat Haze → Auto Mode
  と切り換わります。
- 「Auto」を選ぶとA-1～B-5の7パターン（Offを含む）を順に表示します。

1 設定するソースを再生/受信する。

2 FUNCTIONボタンを繰り返し押し、ファンクションキー「[S.A.]」を表示させる。

3 F1（[S.A.]）ボタンを繰り返し押し、希望のS.A.パターンを選ぶ。

S.A.表示を解除するには
手順3で「Mode Off」を選びます。

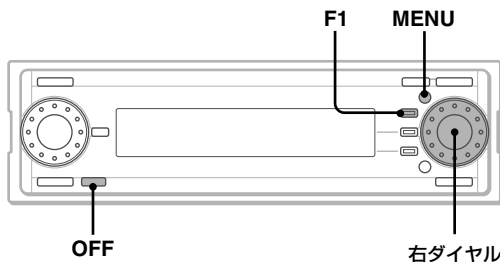
ライブラリーを編集する

パソコンにMobile Library Manager*をインストールして、本機のHDDに記録された音楽データを編集することができます。編集したデータは本機に取り込むことができます。

- 音楽データ（アルバム名、アーティスト名、曲名、Play List、Recycle Bin、フォルダー/アルバム構造）を編集する。
- Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠にオンラインでアクセスし*、アルバム情報を入手する。

* 詳しくは、Mobile Library Managerのインストールマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

ちょっと一言

エクスポートができない場合は、「CANNOT EXPORT」と表示します。

音楽データを転送する（エクスポート）

本機のHDDに記録された音楽データ（アルバム名、アーティスト名、曲名、Play List、Recycle Bin、フォルダー/アルバム構造）を“メモリースティック”に転送します。

1 **“メモリースティック”をセットし、OFFボタンを押す。**

2 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

3 **右ダイヤルを回して「Library」を選び、右ダイヤルを押す。**

4 **右ダイヤルを回して「Export」を選び、右ダイヤルを押す。**

エクスポートを開始します。エクスポートが終了すると通常の画面に戻ります。

エクスポートを解除するには

エクスポート中に、F1（CANCEL）ボタンを押す。

次のページへつづく

音楽データを取り込む（インポート）

編集したデータを“メモリースティック”から本機に取り込みます。

1 **“メモリースティック”をセットし、OFFボタンを押す。**

2 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

3 **右ダイヤルを回して「Library」を選び、右ダイヤルを押す。**

4 **右ダイヤルを回して「Import」を選び、右ダイヤルを押す。**

インポートを開始します。インポートが終了すると通常の画面に戻ります。

インポートを解除するには

インポート中に、F1（CANCEL）ボタンを押す。

ご注意

音楽データを転送した後にHDDを編集すると、音楽データを取り込めなくなります。
この場合、「HDD LIBRARY MODIFIED」と表示されます。

ちょっと一言

インポートができない場合は、「CANNOT IMPORT」と表示します。

Gracenote CDDB®を削除/再インストールする

本機に内蔵されているGracenote CDDB®（CDデータベース）を削除して、HDDを有効に活用することができます。

削除する（アンインストール）

1 OFFボタンを押す。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 右ダイヤルを回して「Library」を選び、右ダイヤルを押す。

4 右ダイヤルを回して「CDDB Uninstall」を選び、右ダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

5 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

削除を開始します。削除が終了すると通常の画面に戻ります。

次のページへつづく

Gracenote CDDB®を削除/インストールする（つづき）

ご注意

インストール中はACCポジションをオフにしないでください。また、フロントパネルを取り外さないでください。

再インストールする（インストール）

1 Gracenote CDDB® Install CD-ROMをセットする。

2 OFFボタンを押す。

3 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

4 右ダイヤルを回して「Library」を選び、右ダイヤルを押す。

5 右ダイヤルを回して「CDDB Install」を選び、右ダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

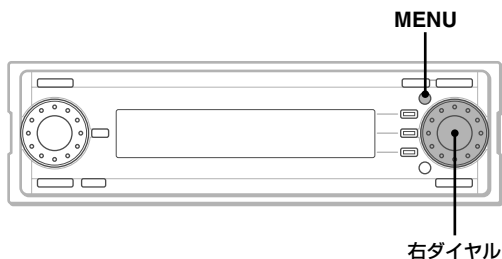
6 右ダイヤルを回して「OK」を選び、右ダイヤルを押す。

インストールを開始します。インストールが終了すると通常の画面に戻ります。

インストールを解除するには

F1（CANCEL）ボタンを押す。

AUX INにつないだ機器の音声を聞く

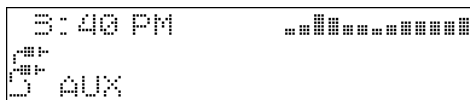
本機のAUX IN（外部音声入力）端子に接続した機器の音声を車のスピーカーから聞くことができます。

ご注意

- ソースが「AUX」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。

ちょっと一言

- SOURCEボタンを繰り返し押しても「AUX」表示されない場合は、「音や表示などの設定を換える」（89ページ）の「AUX Skip」設定を「Off」に設定してください。
- 出力レベルの調整可能範囲は±6dBです。

ソースを設定する

SOURCEボタンを繰り返し押して、「AUX」を選ぶ。

出力レベルを調整する

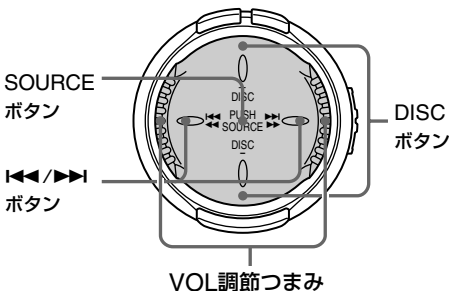
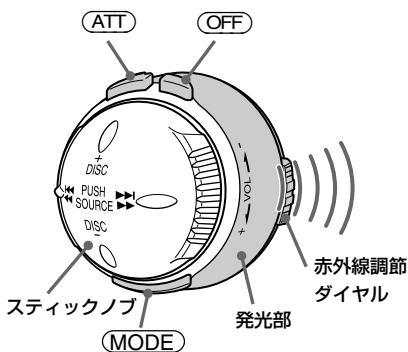
1 ソースが「AUX」のときに、MENUボタンを押す。

2 右ダイヤルを回して「Input Level」を選び、右ダイヤルを押す。

3 右ダイヤルを回して、接続した機器に合わせて出力レベルを調節し、右ダイヤルを押す。

4 MENUボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

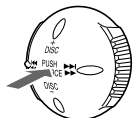
ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）の操作

ATT	一時的に音量を小さくする。
OFF	電源OFF
MODE	バンド切り換え

赤外線調節ダイヤル

ダイヤルを回すことで赤外線の方向を調節します。

SOURCEボタン

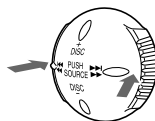
押すと…

各ソース（ラジオ、CD、MD、テープ、テレビ、AUXなど）を選ぶ。

⏮/⏭ボタン

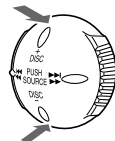
押すと…

- 自動的にラジオ局に周波数を合わせる。
- ディスクの曲を頭出しする。

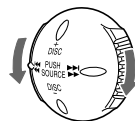
長押しすると…

- 手動でラジオ局に合わせることができる。
- ディスクの曲の早送り/早戻しをする。

DISCボタン

押すと…

- 登録した放送局を受信する。
- アルバムを切り換える。

VOL調節つまみ

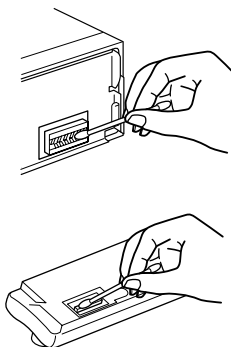
回転させると…

音量を調節する。

放送局やディスクを換えたいときは、そのたびにボタンを押してください。

使用上のご注意

本機の取り扱い

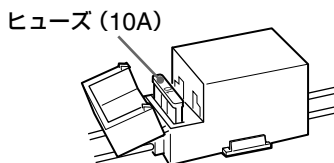
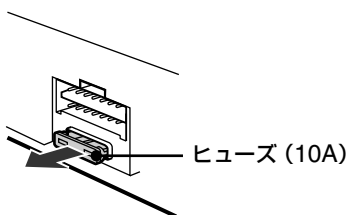
コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。

本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

本体の表面を傷めないために

- 本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。
- フロントパネル表面についたホコリや汚れは、付属のクリーニングクロスでふき取ってください。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

HDDの動作について

本機は、寒冷地で使用される際に、機器を保護する仕様になっています。寒冷地で起動した際に「LOW TEMP Warming Up」と表示された時は、ヒーターなどにより車内の温度を上げ、機器内の温度が上昇し本機が起動を始めるまで、しばらくお待ちください。

次のページへつづく

使用上のご注意（つづき）

結露について

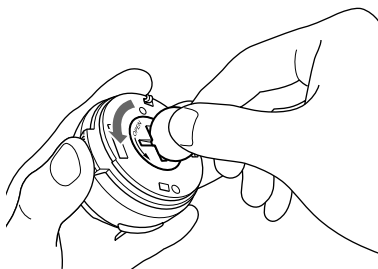
寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。
結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。
周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

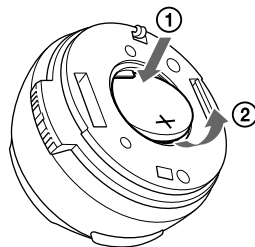
表示窓の結露について

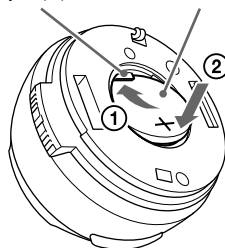
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくもることがあります。
このような場合は、しばらく放置しておくと結露が取り除かれ正常に戻ります。

電池の交換

❶ 電池蓋を開ける

赤外線調節ダイヤルを押えて、コインなどで左回しにして電池蓋を開けます。

❷ 電池を取り外す

イラストのように、つめ側を押して電池を斜めにして取り出します。

❸ 電池を入れる

電池を＋と－の向きに気をつけてイラストのように挿入します。

電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。ワイヤレスロータリーコマンダーがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ワイヤレスロータリーコマンダーについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにワイヤレスロータリーコマンダーを取り付けたり放置しないでください。熱によりワイヤレスロータリーコマンダーが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、ワイヤレスロータリーコマンダーを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではワイヤレスロータリーコマンダーの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部に赤外線調節ダイヤルを合わせて操作してください。

CDについて

CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

記録面に触れないように持つ

ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
  またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。

- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。

- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。
次のような故障の原因となることがあります。

— ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
— 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。（再生できない、音飛びがするなど）

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート形、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

保存

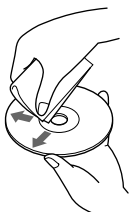
ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

著作権保護技術対応音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。 最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集された下表にあるCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。

オーディオCD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable
MP3ファイル	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable
	COMPACT disc Recordable	COMPACT disc ReWritable

- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。
- 本機はCD-ROM、CD-R、CD-RWに含まれるMP3ファイルを再生することができます。

MP3について

MP3（MPEG1 Audio Layer3の略）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮します。
人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

ディスクについてのご注意

- 本機はMP3形式のCD-ROMあるいはお客様が編集されたCD-R（レコーダブル）、CD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。
- 本機で再生できるのは、MPEG 1 Audio Layer3でサンプリング周波数が44.1kHzのMP3ファイルです。
- ディスクはISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeo準拠でフォーマットされたものが再生可能です。
  本機ではマルチセッション対応で記録したディスクもご使用になれます。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際標準です。
ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：ファイル名は8.3形式（名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字）。
フォルダーは名前が8文字以下で、階層は8つ以下。

レベル2：ファイル名は最大半角31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）。フォルダーは名前が半角31文字以下で階層は8つ以下。

拡張フォーマット

Joliet：ファイル名、フォルダー名は最大で64文字。

Romeo：ファイル名、フォルダー名は最大で半角128文字。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる「トラック・アット・ワンス」を採用した記録方式です。
従来のCDでは、制御部のリード・インでスタートし、リード・アウトで終了します。
マルチセッション対応CDは各セグメントがひとつのセッションのように機能し、各セグメントにリード・インとリード・アウトがあります。

CD-Extra：セッション1のトラックに音声（オーディオCDデータ）を、セッション2のトラックにデータを記録するフォーマット。

Mixed CD：1つのセッション内のトラック1にデータを、トラック2以降に音声（オーディオCDデータ）を記録するフォーマット。

ご注意

- ファイル名、フォルダー名はISO9660のレベル1、レベル2に準拠していないと、正しく表示されない場合があります。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.MP3」を付けてください。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」を付けると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
  —多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
  —マルチセッションで記録したディスク
  —セッションの追加が可能なディスク

マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
  オーディオCDデータのみ通常に再生します。
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
  —ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
  —ディスク内にMP3ファイルがなければ、「NO Music」と表示し、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、著作権保護技術（MagicGate）を搭載した“マジックゲートメモリースティック”（以下“MGメモリースティック”）と、搭載していない一般の“メモリースティック”の2種類があります。

“メモリースティック”をご購入の際は、 または マークのついた“メモリースティック”をお買い求めください。

音楽を記録するとき	音楽以外のデータをバックアップ/リストアするとき

ご注意

本機で対応している“MGメモリースティック”の容量は128MBまでです。

MagicGate（マジックゲート）とは？

マジックゲートは、“MGメモリースティック”と対応機器（本機など）に搭載している著作権保護技術です。対応機器と“MGメモリースティック”の間でお互いが著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

“メモリースティック”使用上のご注意

以下の場合、データが破壊されることがあります。

– 読み込み中や書き込み中に“メモリースティック”を抜いたり、電源をOFFにした場合。
– 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。

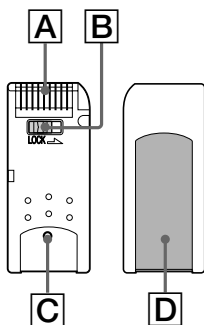
フォーマット（初期化）についてのご注意

“メモリースティック”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず、72ページ「初期化する」の方法でフォーマットを行なってください。

Windowsエクスプローラで初期化された“メモリースティック”を入れると、FORMAT ERRORになり、本機で音楽を再生できません。

次のページへつづく

使用上のご注意（つづき）

“メモリースティック”の取り扱いについて

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。（B）
- “MGメモリースティック”には、触っただけで一般の“メモリースティック”との区別ができるように裏面に突起があります。（C）
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。（D）
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。（A）
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

万一故障した場合は、内部を開けずに、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。（“メモリースティック”が本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、“メモリースティック”を入れたままご相談されることをおすすめします。）

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	• 音量を上げてください。 • ATT機能を解除してください。 • スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	メモリーの内容が消えてしまった。	• リセットボタンを押した。 • バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。 • 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定（89ページ）を「On」にしてください。
	なにも表示されない。	• OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。 • フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする。（101ページ） • Displayの設定（90ページ）が「Off」になっている。 → ボタンを押すなどの操作をすると表示が出ます。
	電源が入らない。	• 電源コードが正しく接続されていない。 • 車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押して電源を入れてください。
	ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
	電源がOFFにならない。	車のイグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。
	オートアンテナが上らない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。

次のページへつづく

故障かな？（つづき）

	症状	原因・処置
共通	ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
	ワイヤレスロータリーコマンダー（別売り）で操作できない。	ワイヤレスロータリーコマンダーの電波の送信方向が合っていない。 →赤外線調節ダイヤル（100ページ）で合わせてください。
	タイトル欄に「□」と表示される。	本機で表示できない文字が使用されている。 →本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。（47、53ページ）
CD	CDを入れたのにSOURCEボタンを押しても、「CD」が表示されない。	• CDを裏返しに入れている。 • 音楽ファイルのないCDを入れている。 • 本機がCDを認識するまでに時間がかかっている。 → しばらく待ってから操作してください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	• CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 • CDが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が30°を越えている。 • 本機または別売ユニットが正しく固定されていない。 • 保存状態によりCD-R/CD-RWが劣化している。
	MP3ファイルが再生できない。	• ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。 • MP3ファイルに拡張子が付いていない。 → 記録した機器で拡張子「.MP3」を付けてください。 • MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。 • 本機で再生できるのは、対応圧縮方式がMPEG1 Layer3でサンプリング周波数が44.1kHz、対応ビットレートが32k～320kbpsのMP3ファイルのみです。
	フォルダー名／ファイル名が正しく表示されない。	• ISO9660レベル1に準拠して記録されていない。 → 準拠しているCDを使用してください。 • 本機で使用可能な文字数を越えている。
	フォルダー名／ファイル名が「＊」になる。 CD TEXTの文字が「＊」になる。	本機で表示できる文字は漢字、かな（ひらがな、カタカナ）、英文（大文字（A～Z）、小文字（a～z））、数字、（0～9）、記号です。それ以外の文字は「＊」となります。 → 本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

	症状	原因・処置
MGメモリースティック	“MGメモリースティック”を再生していたら急に音が止まった。	“MGメモリースティック”の端子部が汚れている。 →“MGメモリースティック”を数回抜き差ししてください。
	再生期限付きの音楽データを再生できない。	有効期限外である。 →有効期限外の場合は再生できません。
	“MGメモリースティック”が挿入できない。	表裏を逆にして挿入している。 →本機に表示してあるイラストと同じ方向に挿入してください。（20ページ）
	他の機器で使っていた“MGメモリースティック”で音楽データの転送ができない。	• “MGメモリースティック”でない。 →“MGメモリースティック”以外はご使用になれません。 • パソコンなどでフォーマット（初期化）してある。 →必要なデータをパソコンなどにコピーしたうえで、72ページの方法でメモリーステックをフォーマットし直してください。
ラジオ	受信できない、 雑音しか出ない。	• パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリー電源（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。 • IF機能が「Wide」になっている。 →「Auto」にしてください。（43ページ）
	SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	• 「Local 」を「On」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →「Off」にしてください。（42ページ） • 電波が弱くて自動選局できない。 →F1（◀SEEK）またはF2（▶SEEK）ボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。	• 周波数を確認してください。 • 電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください。（43ページ） • DSOの設定を「Off」にしてください。（80ページ）
サウンド	音がでない、または 音が小さい。	バランス（BAL）、フェーダー（FAD）などのスピーカー出力の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 →BAL、FADを調節してください。（83、85ページ）

メッセージ一覧

本機を使用中、状況によってメッセージが点滅します。下の表に従ってチェックしてみてください。

CD関連のメッセージ、エラー表示

CDが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

メッセージ	原因	処置
CD ERROR	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。

HDD関連のメッセージ、エラー表示

メッセージ	原因	処置
LOW TEMP Warming Up	ハードディスクの周囲の温度が低温になった。	しばらく待ってから操作してください。
HIGH TEMP Cooling Down	ハードディスクの周囲の温度が高温になった。	しばらく待ってから操作してください。
CONTENTS ERROR	• 対応していない曲を再生しようとした。 • 曲データを読み取れない。	
EXPIRED	再生条件(期限/回数)により曲が再生できない。	
DISK ERROR	• HDDが認識されていない。 • 不正なHDDが組み込まれている。	
FULL CAPACITY	• これ以上、フォルダーやアルバムを作れない。 • これ以上、曲を録音できない。 • HDDがいっぱいになった。	• 不要なフォルダー、アルバムを削除してください。 •不要な曲を削除してください。
NO FOLDER	フォルダーが1つもない。	フォルダーを作成してから録音をしてください。
CANNOT NAME IN	名前の編集が出来ないフォルダー/アルバム/曲に名前を付けようとした。	
INPUT FULL	名前の編集時に、1度に入力することが可能な文字数を超えた。	
NAME FULL	名前入力が可能な文字数を超えた。	
FILE CHECKING	• 録音中などのHDD書き込みアクセス中にエンジンをかけた。 • 本機のリセットボタンを押した。	HDD内のデータの修復を行っていますので、終了するまでしばらくお待ちください。

“メモリースティック”関連のメッセージ、エラー表示

メッセージ	原因	処置
FORMAT ERROR	本機で再生できないフォーマットの“メモリースティック”が挿入されている。(パソコンでフォーマットした場合など)	72ページの方法でフォーマット(初期化)してください。(必ず、本機を使ってフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると、チェックイン/アウトは出来ても、本機で再生できません。)
EXPIRED	• 再生期限付きの曲を再生しようとした。 • 本機で対応していない制限付きの曲を再生しようとした。	再生できないデータがある場合は、本機で消去することが出来ます。
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	• “メモリースティック”をもう一度入れ直してから表示を確認してください。 • ライトプロテクトスイッチがONの場合、OFFにしてからもう一度入れ直して表示を確認してください。 • 本機で“メモリースティック”をフォーマットしてください。
READ ONLY STICK	読み出し専用の“メモリースティック”である。	この“メモリースティック”は編集できません。
NO CONTENTS	再生可能な曲がない。	音楽データの入っていない“メモリースティック”の場合は、音楽データをチェックアウトしてください。
CONTENTS ERROR	• 本機で対応していない曲を再生しようとした。 • 曲データを読み取れない。	• “メモリースティック”をもう一度入れ直してから表示を確認してください。 • 再生できないデータがある場合は、“メモリースティック”から削除することができます。 • 対応するビットレートの曲を再生してください。
STICK ERROR	• “メモリースティック”にアクセスできない。 • “メモリースティック”の異常、または、本機の異常が認識された。	“メモリースティック”を1度抜き差ししてみてください。解決しない場合は、“メモリースティック”内のデータをパソコン等に移動してから本機でフォーマットしてください。それでも解決しない場合は、本機と“メモリースティック”の両方をソニーのサービス窓口にお持ちください。
CANNOT RESTORE	“メモリースティック”内に、リストアをしようとしているフォルダーと同一名のフォルダーが存在する。	→ “メモリースティック”内のフォルダを消去してください。

次のページへつづく

メッセージ一覧（つづき）

HDD/“メモリースティック”のメッセージ、エラー表示

メッセージ	原因
FORMAT ERROR	本機で再生できないフォーマットの“メモリースティック”が挿入されている。(パソコンでフォーマットした場合など)
FULL CAPACITY	HDDまたは“メモリースティック”の容量がいっぱいになった。
LOW TEMP	ハードディスクの周囲の温度が低温になった。
NO MEDIA	エクスポート/インポート時に“メモリースティック”が挿入されていない。
CANNOT IMPORT	インポートできない。
NO DATAFILE	“メモリースティック”に何もデータが入っていない。
HDD LIBRARY MODIFIED	エクスポートした後にHDDを編集したためインポートできない。
INVALID LIBRARY EXPORT AGAIN	エクスポートする前にインポートしようとした。
CANNOT EXPORT	エクスポートできない。
STICK LOCKED	• “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 • “メモリースティック”が書き込み不可になっている。
DISK READ ERROR	HDDが読み込みできない。
DISK WRITE ERROR	HDDが書き込みできない。
NO INSTALL FILE	• Gracenote CDDB®インストール用CD-ROMが挿入されていない。 • Gracenote CDDB®インストール用CD-ROMにインストール用のデータが入っていない。
VERIFY ERROR	Gracenote CDDB®インストールを検証中にエラーが起きた。
CANNOT UNINSTALL	本機からGracenote CDDB®を削除できない。

ネットワークウォークマン関連のメッセージ、エラー表示

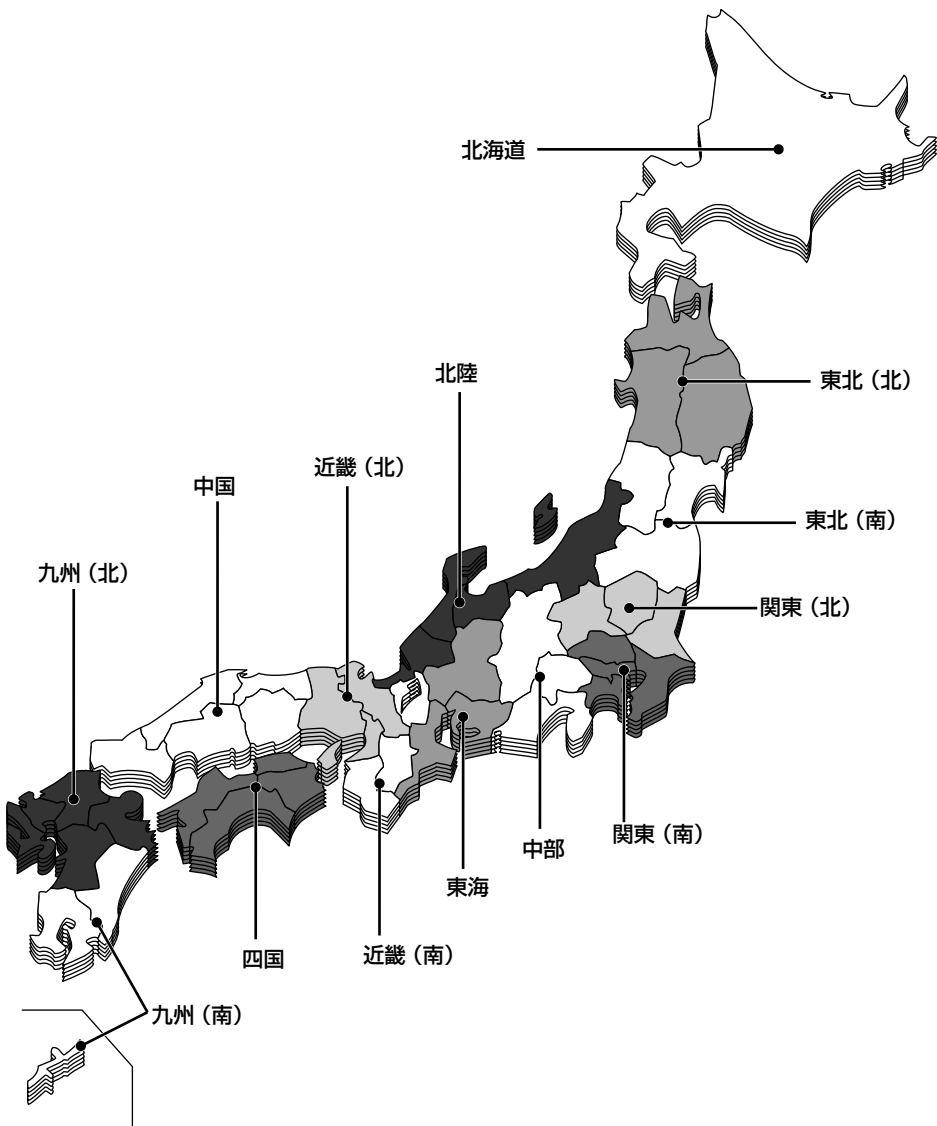
メッセージ	原因	処置
WALKMAN ERROR	• ネットワークウォークマンと通信ができない。 • ネットワークウォークマンに接続できない。	• ネットワークウォークマンが接続されているか確認してください。 • ネットワークウォークマンをもう一度抜き差ししてください。 • それでも解決できないときは、ネットワークウォークマンをソニーのサービス窓口にお持ちください。
WALKMAN REMOVED	アクセス中にネットワークウォークマンのコネクターが抜けてしまった。	
NOT COMPATIBLE	対応していないネットワークウォークマンに対して、フォーマットやチェックアウト操作をしようとした。	

“メモリースティック”/ネットワークウォークマンのメッセージ、エラー表示

メッセージ	原因	処置
CANNOT CHECKOUT	• チェックアウト可能な回数以上にチェックアウトしようとした。 • チェックアウトすることが出来ないデータをチェックアウトしようとした。	
CANNOT MOVEOUT	ムーブアウトできない曲である。	
CANNOT CHECKIN	チェックインできない曲である。	
CANNOT MOVEIN	ムーブインできない曲である。	
CANNOT IMPORT	インポートできない曲である。	
NO MEMORY SPACE	“メモリースティック”がいっぱいになっている。	不要なデータを“メモリースティック”から消去してください。
INVALID STICK	著作権非対応の“メモリースティック”にチェックアウトしようとした。	“MGメモリースティック”をご使用ください。
STICK LOCKED	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	“メモリースティック”を初期化するとき、または編集するときは、誤消去防止スイッチをOFFにしてください。
STICK REMOVED	アクセス中に“メモリースティック”を抜いた。	
NO MEDIA	• チェックアウト時に“メモリースティック”が挿入されていない。 • チェックアウト時にネットワークウォークマンが接続されていない。	

ラジオのメッセージ、エラー表示

メッセージ	原因	処置
MEMORY FULL	プリセット登録数が最大数を超えている。	→ 不要なプリセットを消去してください。

エリアコール一覧

放送局一覧

この放送局一覧では、エリアコール機能により本機に記憶されている放送局（2002年5月現在）について記載しています。

北海道

AM（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第 1	567	585	603	621	675	792	837	927
	945	1026	1161	1188	1341	1584		
NHK 第 2	747	702	1125	1152	1467	1602		
HBC ラジオ（北海道放送）	1287	801	864	900	1098	1269	1368	1404
	1449	1494	1557					
STV ラジオ（札幌テレビ放送）	1440	639	882	909	1062	1071	1197	1485

FM（単位：MHz）

放送局	周波数							
AIR-G'（FM 北海道）	80.4	76.4	78.5	79.2	81.9	83.1	86.4	87.8
	88.8	89.4						
NORTH WAVE（FM ノースウェーブ）	82.5	77.2	79.4	79.5	79.8	80.7	82.1	
NHK FM	85.2	81.6	84.3	84.5	85.8	86.0	87.0	87.5
	88.0	88.2	88.5	89.1	89.9			

東北（北）

AM（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第 1	531	792	846	963	999	1026	1161	1323
	1341	1503	1584					
IBC ラジオ（IBC 岩手放送）	684	1062						
NHK 第 2	774	1359	1377	1386	1467	1521	1539	1602
ABS ラジオ（秋田放送）	936	801	1557					
RAB 青森放送（青森放送）	1233	1215	1485					
AFN	1575							

FM（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM 岩手	76.1	77.0	79.2	79.7	80.3	80.7	82.2	85.9
	89.3							
FM 青森	80.0	78.4	81.3	84.3				
FM 秋田	82.8	77.1	77.7	78.0	78.9	89.2	89.7	
NHK FM	86.0	81.8	82.7	83.1	83.4	83.6	83.8	84.9
	86.7	88.3	85.1	85.5				

次のページへつづく

放送局一覧（つづき）

東北（南）

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK第1	891 1368	540 1584	846	981	1026	1161	1323	1341
YBCラジオ（山形放送）	918							
NHK第2	1089	1035	1359	1512	1521	1539	1602	
TBCラジオ（東北放送）	1260	801	1215	1557				
RFC（ラジオ福島）	1458	1098	1395	1431				

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
Date fm（FM仙台）	77.1	81.3	81.4	84.1				
FM山形	80.4	76.9	77.3	78.2				
ふくしまFM（FM福島）	81.8	78.6	79.8	82.8				
NHK FM	82.5 85.9	82.1 86.0	83.3 86.1	83.6 88.3	84.2	84.3	84.6	85.3

関東（北）

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数		
NHK第1	594		
NHK第2	693		
TBSラジオ（東京放送）	954		
文化放送	1134		
IBS（茨城放送）	1197	1458	
ニッポン放送	1242		
CRT（栃木放送）	1530	864	1062

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数						
RADIOBERRY（FM栃木）	76.4	78.3	78.5	79.1	84.4		
放送大学	78.8	77.1					
NHK FM	83.2	80.3	81.6	82.9	83.4	83.7	84.2
FM群馬	86.3	76.7	77.8	79.4	82.0	82.2	

関東（南）

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第 1	594							
NHK 第 2	693							
AFN	810							
TBS ラジオ（東京放送）	954							
文化放送	1134							
ニッポン放送	1242							
ラジオ日本（RF ラジオ日本）	1422	1485						

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
Inter FM（FM インターウェーブ）	76.1	76.5						
放送大学	77.1	78.8						
BAY FM（FM サウンド千葉）	78.0	77.7	79.3	79.7	87.4			
NACK5（FM 埼玉）	79.5	77.5						
TOKYO FM（FM 東京）	80.0	76.7	84.3					
J-WAVE（FM ジャパン）	81.3							
NHK FM	82.5	80.7	81.9	83.5	83.7	83.9	85.1	
FM ヨコハマ（横浜 FM 放送）	84.7	80.4						

中部

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第 2	639	1359	1467	1476	1512	1521	1539	1602
YBS ラジオ（山梨放送）	765							
NHK 第 1	882	540	621	819	927	981	999	1026
	1161	1341	1584					
SBC ラジオ（信越放送）	1098	864	1062	1197	1458	1485		
SBS ラジオ（静岡放送）	1404	1557						

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
K-MIX（静岡 FM 放送）	79.2	78.4	81.6	85.8	85.9	86.6		
FM 長野（長野 FM 放送）	79.7	78.1	80.3	81.5	81.8	83.3	86.4	88.3
FM-FUJI（富士 FM 放送）	83.0	78.6	80.5					
NHK FM	88.8	77.4	82.1	83.8	84.0	84.2	84.8	84.9
	85.3	85.6	85.7	86.0				

次のページへつづく

放送局一覧（つづき）

東海

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第 1	729	792	846	1161	1341	1368		
NHK 第 2	909	1125	1359	1521	1539	1602		
CBC ラジオ（中部日本放送）	1053	801	1062	1557				
東海ラジオ（東海放送ラジオ）	1332	864	1458					
岐阜ラジオ（岐阜放送）	1431	720	1197	1485				

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
ZIP-FM（FM 名古屋）	77.8	77.1						
FM 三重（三重 FM 放送）	78.9	78.1	80.4	83.2	84.9	85.5	85.7	
RADIO-i（愛知国際放送）	79.5							
Radio 80（岐阜 FM）	80.0	78.3	81.5	82.1				
FM AICHI（FM 愛知）	80.7	81.3						
NHK FM	82.5 85.3	81.8 85.8	82.8 86.1	83.3	83.6	84.4	84.5	84.8

北陸

AM　（単位：kHz）

放送局	周波数							
KNB ラジオ（北日本放送）	738							
NHK 第 1	837 1161	540 1224	648 1323	792 1341	927 1368	981 1584	999	1026
FBC ラジオ（福井放送）	864	1557						
MRO ラジオ（北陸放送）	1107	1485						
BSN ラジオ（新潟放送）	1116	1062	1530					
NHK 第 2	1539	1035	1359	1386	1467	1512	1521	1593

FM　（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM 福井（福井 FM 放送）	76.1	80.3	82.0	82.5	86.3	86.4		
FM 新潟（FM ラジオ新潟）	77.5	80.4	84.7	86.5	79.2			
FM 石川	80.5	78.4	81.9	85.5	89.9			
NHK FM	82.3 83.0	81.5 83.2	82.2 87.8	83.4 85.1	83.5	84.4	84.9	86.0
FM とやま（富山 FM 放送）	82.7	84.6	85.8					

近畿（北）

AM （単位：kHz）

放送局	周波数							
AM KOBE（ラジオ関西）	558	1395						
NHK 第1	666	621	999	1026	1161	1341	1584	
NHK 第2	828	1359	1539	1602				
ABC ラジオ（朝日放送）	1008							
KBS 京都（京都放送）	1143	1215	1485					
MBS ラジオ（毎日放送）	1179							
OBC（大阪放送）	1314							

FM （単位：MHz）

放送局	周波数							
FM COCOLO（関西インターメディア）	76.5							
FM 802	80.2							
FM osaka（FM 大阪）	85.1	77.4						
NHK FM	88.1 83.5	82.8	82.9	83.9	84.2	84.8	86.5	88.6
FM KYOTO（FM 京都）	89.4	79.8	81.3	85.4	87.2			
Kiss-FM（兵庫 FM ラジオ放送）	89.9	77.6	78.3	78.4	79.9	87.1	87.9	

近畿（南）

AM （単位：kHz）

放送局	周波数				
NHK 第1	666	945	1026	1161	1584
NHK 第2	828	1359	1602		
ABC ラジオ（朝日放送）	1008				
KBS 京都（京都放送）	1143	1215			
MBS ラジオ（毎日放送）	1179				
OBS（大阪放送）	1314				
WBS ラジオ（和歌山放送）	1431	1233	1485	1557	

FM （単位：MHz）

放送局	周波数							
E-Radio（FM 滋賀）	77.0							
FM802	80.2	78.3						
NHK FM	84.0 87.4	81.8 88.1	82.8	83.2	83.7	83.8	83.9	84.7
FM osaka（FM 大阪）	85.1	77.4						
FM KYOTO（FM 京都）	89.4	79.8	81.3	85.4	87.2			

次のページへつづく

放送局一覧（つづき）

中国

AM　　（単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第 2	702	1035	1125	1152	1359	1377	1386	1467
	1521	1593	1602					
KRY ラジオ（山口放送）	765	918	1485					
BSS ラジオ（山陰放送）	900	1431	1557					
NHK 第 1	1071	603	675	846	927	963	999	1026
	1161	1296	1323	1341	1368	1584		
RCC ラジオ（中国放送）	1350	1458	1530					
RSK ラジオ（山陽放送）	1494							
AFN	1575							

FM　　（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM 岡山（岡山 FM 放送）	76.8	82.9	83.8	84.1				
FM 山陰	77.4	77.2	78.8	82.1	83.4	86.6		
広島 FM 放送	78.2	76.4	77.1	77.8	80.4	81.3	81.4	81.7
	82.3	83.5	86.3					
FM 山口	79.2	77.7	77.9	78.6	81.6	88.6		
NHK FM	88.3	80.1	83.1	83.3	83.7	84.0	84.3	84.5
	84.8	85.3	85.5	85.7	85.8	85.9	88.7	

四国

AM　　（単位：kHz）

放送局	周波数							
RKC ラジオ（高知放送）	900	1197	1395	1557				
NHK 第 1	990	792	846	945	963	999	1026	1161
	1323	1341	1368	1584				
RNB（南海放送）	1116							
NHK 第 2	1152	1035	1359	1467	1476	1512	1521	1539
	1602							
JRT ラジオ（四国放送）	1269							
RNC ラジオ（西日本放送）	1449							

FM　　（単位：MHz）

放送局	周波数							
FM 香川	78.6							
FM 愛媛	79.7	77.6	78.8	80.0	82.1	89.2		
FM 徳島	80.7	77.7	78.4	82.3				
FM 高知	81.6	78.5	80.6	81.3	82.7			
NHK FM	86.0	83.4	84.4	84.8	85.7	86.5	87.0	87.5
	87.7							

九州（北）

AM （単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第1	612 963	540 981	639 1026	684 1161	756 1323	819 1341	846 1503	945 1584
NHK 第2	1017	873	1377	1467	1512	1521	1602	
OBS ラジオ（大分放送）	1098	1269	1557					
NBC ラジオ（長崎放送）	1233	1116	1431	1449	1458			
RKB ラジオ（RKB 毎日放送）	1278	1062						
KBC ラジオ（九州朝日放送）	1413	720	1485					

FM （単位：MHz）

放送局	周波数							
Love FM（九州国際 FM）	76.1	82.7						
FM 佐賀	77.9	79.9						
CROSS-FM（FM 九州）	78.7	77.0	86.5	87.2	87.8			
SMILE-FM（FM 長崎）	79.5	77.8	78.9	79.2	80.3			
FM フクオカ（FM 福岡）	80.7	80.0	81.8	82.1	87.0			
NHK FM	84.8 84.5	81.6 85.4	82.2 85.7	82.5 85.8	82.8 86.0	83.0 86.2	83.4 88.9	83.6
FM 大分	88.0	84.9	85.1	89.3				

九州（南）

AM （単位：kHz）

放送局	周波数							
NHK 第1	576 1341	531 1368	540 1584	549	621	792	1026	1161
AFN	648							
RBC（琉球放送）	738	1152						
ROK（ラジオ沖縄）	864							
MRT ラジオ（宮崎放送）	936							
MBC（南日本放送）	1107	1062						
RKK ラジオ（熊本放送）	1197							
NHK 第2	1386	1125	1359	1467	1512	1521	1539	1602

FM （単位：MHz）

放送局	周波数						
FM 中九州	77.4	76.8	76.9	78.4	80.4	81.3	82.0
FM 鹿児島	79.8	76.6	79.0	80.5			
FM 宮崎	83.2	80.7	84.9	89.5			
NHK FM	86.2 88.1	82.2 84.4	84.1 83.7	84.7	84.8	85.6	87.0
FM 沖縄	87.3						
AFN	89.1						

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10～20,000Hz

メモリースティック部

SN比	90dB
周波数特性	10～20,000Hz
最大録音時間 （64MBマジックゲートメモリースティック使用時）	約60分（132kbps） 約80分（105kbps）
再生信号圧縮方式	アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）

HDD部

HDD容量	10 GB（IGB=10億バイトで算出）
再生信号圧縮方式	アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）
周波数特性	10～20,000Hz

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz、TV1～3
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB（400kHz）
SN比	66dB（ステレオ） 72dB（モノラル）
ひずみ率（1kHz）	0.6%（ステレオ） 0.3%（モノラル）

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

グラフィックイコライザー部

中心周波数	62Hz、157Hz、396Hz、1kHz、2.5kHz、6.3kHz、16kHz
可変範囲	±10dB

アンプ部

適合インピーダンス	4～8Ω
最大出力	45W×4（4Ω負荷1kHz）

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー （マイナスアース）
出力端子	サブウーファー（モノラル）音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	AUX IN（外部音声入力）端子、 FM/AMアンテナ入力端子（Jaso用）、 ATT入力端子（ナビ用）、 イルミネーションコントロール入力端子
トーンコントロール	低音：±9dB（100Hz） 高音：±9dB（10kHz）
本体寸法	約178×50×182mm （幅／高さ／奥行き）
取付寸法	約178×50×160mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約2.0kg
付属品	取り付け/接続部品（一式） 取扱説明書（一式） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1） ケース（1） クリーニングクロス（1） Digital I/Oケーブル（1）
別売品	ワイヤレスロータリーコマンダー RM-X6S 電源コード　RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

用語解説

マジックゲート
MagicGate

“マジックゲート メモリースティック”に記録するデータの暗号化と、“マジックゲート メモリースティック”対応機器の相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。機器と“メモリースティック”の両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。
マジックゲート対応機器と“マジックゲート メモリースティック”の間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータを“マジックゲート メモリースティック”へ記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、“マジックゲート メモリースティック”と機器が相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGICGATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

“マジックゲート メモリースティック”

IC記録メディアメモリースティックに著作権保護技術「MagicGate（マジックゲート）」を搭載したもの。音楽などの著作権保護が必要なデータは、“マジックゲ－ト メモリースティック”と「マジックゲ－ト」対応機器（ネットワークウォークマンなど）の組み合わせでのみ記録や再生ができます。“マジックゲ－ト メモリースティック”には、著作権保護が必要なデータだけでなく、その他の“メモリースティック”対応機器のデータを記録することもできます。
“マジックゲ－ト　メモリースティック”には「MG」「MAGIC GATE」のロゴがついています。

“メモリースティック”

小型、軽量のIC記録メディア。著作権保護技術「マジックゲート」を搭載した“マジックゲート メモリースティック”（“MG メモリースティック”）と、搭載していない一般の“メモリースティック”があります。“メモリースティック”対応のA/V機器で画像や音楽、音声データを記録したり、パソコンでデータを記録できます。1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することも可能です。（使用する機器によって、使える機能や扱えるデータの種類は異なります。）例えば、音楽データが入っている“MGメモリースティック”の空き部分に、画像を記録できる機器で画像データを記録することもできます。

オープンエムジー
OpenMG

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

次のページへつづく

用語解説（つづき）

エスディーエムアイ
SDMI（Secure Digital Music Initiative）

「Secure Digital Music Initiative」の略。
全世界に共通して使用できる著作権保護技術の統一方式を開発するために、レコード業界、コンピュータ業界、民生用エレクトロニクス業界など約130社以上の企業・団体が集まり、構成されたフォーラムです。
音楽ファイルの違法な使用を阻止し、合法な音楽配信サービスを促進するための枠組み作りを行っています。
著作権保護技術「OpenMG」、「MagicGate」はSDMIの規格に準拠しています。

チェックアウト／チェックイン

本機のHDDに録音した音楽データを、外部機器／メディア（ネットワークウォークマンなど）に転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データを本機に戻すことを「チェックイン」と言います。（チェックアウトしたデータをパソコンや他のハードディスクデスクトップオーディオシステムにチェックインすることはできません。）
一度チェックアウトしたデータをチェックインにより本機に戻した後、再びチェックアウトすることも可能です。
特別に利用方法に関する条件が付加された音楽データを除き、SDMIの基本ルールでは音楽データは1回のコピーで4部まで作成可能なため、1部は本機のHDDに保存され、残りの3部は外部機器／メディアへチェックアウトできます。

ムーブアウト/ムーブイン

ムーブアウト可能な曲を本機から"メモリースティック"やネットワークウォークマンに取り込むことをムーブアウトと言い、反対にムーブイン可能な曲を"メモリースティック"やネットワークウォークマンから本機のFolder 001にあるAlbum 001に取り込むことをムーブインと言います。

インポート

"メモリースティック"から本機のFolder 001にあるAlbum 001にデータを取り込むことをインポートと言います。

アトラックスリー
ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps（bit per second）。読みかたは、「ビーピーエス」です。本機では、CDを録音する際にビットレートを132kbps/105kbpsから選べます。例えば、105kbpsは、1秒間に105000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3など）の比較では、一般的に105kbpsよりも132kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。（MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません。）

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ、ワ行

アルファベット順

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月〜金　9:00〜18:00
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax…………………………… 0466-31-2595
受付時間：月〜金 9:00〜20:00、土・日・祝日 9:00〜17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Sony Corporation　Printed in Japan